

0001 1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：基礎

建築計画におけるモデューラーコーディネーションの説明として、最も適切なものはどれか。

ア．基準となる寸法系列を設定し、部材や空間寸法の調整を行いやすくする考え方である。

イ．構造形式を一種類に限定し、建築物の平面形を統一する考え方である。

ウ．人体寸法だけを基準にし、材料寸法や施工寸法は考慮しない考え方である。

エ．完成後の家具配置だけを効率化するための寸法ルールである。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。モジュールは寸法調整の共通基準として、部材の標準化や納まりの合理化に役立つ。

イ：モジュールは構造形式や平面形を一種類に限定する考え方ではない。

ウ：人体寸法は重要な要素だが、材料・部材・施工寸法との調整も対象となる。

エ：家具だけでなく、躯体・建具・設備・部材など建築全体の寸法調整に関わる。

総合解説：モデューラーコーディネーションは、共通の寸法体系を用いて設計・生産・施工の整合を図る考え方である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0002 1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：基礎

和室を江戸間（シングルグリッド）の考え方で計画する場合の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．畳寸法を先に固定し、その外側に柱断面を付加して柱心寸法を決める。

イ．柱心間の寸法を一定の基準寸法の整数倍で決め、その内側に畳を納める。

ウ．柱の外側間だけを基準にし、柱心寸法は設計上用いない。

エ．室ごとに異なる基準寸法を用い、建物全体ではグリッドを統一しない。

答え・解説

正答：イ

ア：これは畳割りを基準にする考え方に近く、江戸間のシングルグリッドの説明ではない。

イ：適切。江戸間は柱心を基準にグリッドを設定するシングルグリッドとして扱われる。

ウ：伝統的な平面計画でも柱心寸法は重要な基準となる。

エ：シングルグリッドは建物内で基準となるグリッドを統一して調整する考え方である。

総合解説：江戸間は柱心基準のグリッドで室寸法を整理する代表的な例であり、畳そのものの寸法だけから柱位置を決める方式ではない。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0003

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：標準

出入口の「有効開口幅」を確認する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．建具枠の外々寸法をそのまま有効開口幅とする。

イ．扉を閉じた状態の扉幅を有効開口幅とする。

ウ．扉を開いた状態で、人や車椅子が実際に通過できる最小の有効幅を確認する。

エ．壁芯から壁芯までの距離を有効開口幅とする。

答え・解説

正答：ウ

ア：枠の外々寸法には枠材や壁厚などが含まれ、実際の通行幅とは一致しない。

イ：扉幅そのものと、開放時に得られる通行可能幅は異なる。

ウ：適切。有効開口幅は、枠寸法や扉寸法ではなく実際に通行できる幅で評価する。

エ：壁芯間寸法は平面計画上の寸法であり、開口部の実効的な通行幅ではない。

総合解説：各部寸法では「名目寸法」と「実際に使える有効寸法」を区別することが重要である。バリアフリー計画では特に有効幅での確認が必要となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0004

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：標準

庁舎の受付カウンターを多様な利用者に対応させる計画として、最も適切なものはどれか。

ア．すべてのカウンターを高さ約1,200 mmに統一する。

イ．車椅子使用者用の部分は立位用より高くして、膝下空間を確保する。

ウ．利用姿勢にかかわらず、カウンター高さを一種類にすることがユニバーサルデザインの原則である。

エ．立位利用向けの高い部分に加え、車椅子使用者等が利用しやすい高さ約700 mmの低い部分を設ける。

答え・解説

正答：エ

ア：高すぎるカウンターへの統一は、座位利用者や小柄な利用者の使いやすさを損なう。

イ：車椅子利用では天板を低くし、必要な下部空間を確保するのが基本である。

ウ：単一寸法への統一ではなく、多様な利用者が選べる寸法や使い方を用意することが重要である。

エ：適切。異なる利用姿勢に対応するため、ローカウンターとハイカウンターを組み合わせる考え方が有効である。

総合解説：受付では、立位・座位・車椅子利用などの違いを想定し、高さや下部空間を複数の利用条件に合わせて計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0005

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：基礎

階高5 m程度の売場を結ぶエスカレーターの計画として、一般的に適切なものはどれか。

ア．最大勾配を30度として計画する。

イ．最大勾配を45度として計画する。

ウ．階高にかかわらず、最大勾配は60度まで許容されるものとして計画する。

エ．勾配は輸送能力に影響しないため、平面上の設置スペースだけで決める。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。高揚程のエスカレーターでは30度が基本的な計画値となる。

イ：45度は一般的なエスカレーターの勾配として急すぎる。

ウ：エスカレーターは階段と異なり、機器として勾配に明確な制約がある。

エ：勾配は安全性・機器仕様・必要水平距離に関係するため、平面スペースだけでは決められない。

総合解説：エスカレーターは階高、勾配、水平投影長さ、乗降部の滞留スペースを一体で検討する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0006

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：標準

公立小学校で、廊下の両側に教室を配置する計画として、適切な廊下幅の例はどれか。

ア．幅0.9 mで足りるものとする。

イ．幅2.3 mを確保する。

ウ．幅1.2 mで足りるものとする。

エ．教室の出入口前だけ広げればよく、廊下全体の幅員は考慮しない。

答え・解説

正答：イ

ア：学校の主要廊下としては集団移動やすれ違いに不足する。

イ：適切。両側に教室がある学校廊下では、児童のすれ違い・集団移動を考慮した十分な幅員が必要であり、2.3 mは試験上の標準的な適切例である。

ウ：一般的な片方向通行程度の幅であり、両側教室の学校廊下としては狭い。

エ：廊下全体が避難・移動経路となるため、局所的な拡幅だけでは不十分である。

総合解説：学校の廊下は通常時の集団移動だけでなく、避難時の安全性も考慮して計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0007

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：標準

成人用バスケットボールコートを2面設ける公共体育館のアリーナ内法寸法として、計画上適切な例はどれか。

- ア．15 m × 28 mとし、2面を完全に重ねて使用する。
- イ．30 m × 28 mとし、周囲の安全余裕は不要とする。
- ウ．40 m × 50 m程度を確保し、競技面の周囲にも安全上必要な余裕を設ける。
- エ．競技面積は観客席面積に含めて算定し、アリーナ内法寸法は別途確認しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：15 m × 28 mはバスケットボール1面の競技面に相当し、常時2面利用する計画にはならない。
イ：競技面を並べるだけでは、コート外の安全余裕や運営空間が不足する。
ウ：適切。2面分の競技コートだけでなく、周囲の安全余裕や運営スペースも見込む必要がある。
エ：競技面と観客席は用途・安全条件が異なり、アリーナの有効寸法を独立して確認する必要がある。
総合解説：体育施設では、競技規格そのものに加えて、競技面の周囲のクリアランス、審判・選手動線、観客との分離を考える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0008

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：標準

車椅子使用者用便房の自動扉の押しボタンスイッチを計画する考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア．床から1.4 m以上に統一し、立位の人操作だけを優先する。
- イ．扉の開閉軌跡の内側に置き、扉に近いほどよい。
- ウ．視覚表示だけ設ければよく、押しボタンの位置は利用者の到達範囲を考慮しなくてよい。
- エ．座位の利用者が無理なく手を伸ばせ、扉の開閉時にも安全な位置・高さに設ける。

答え・解説

正答：エ

ア：高すぎる操作部は車椅子使用者等の到達を困難にする。
イ：開閉する扉と利用者が干渉し、操作時の安全性が低下する。
ウ：操作部は実際に利用者が触れて操作できる位置にする必要がある。
エ：適切。操作部は到達しやすさだけでなく、扉の動きとの干渉や接近スペースも考慮する。
総合解説：バリアフリーの各部計画では、到達範囲・接近空間・操作力・視認性を総合して操作部を配置する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0009

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：応用

事務所建築の階高を設定する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．必要天井高に加え、梁せい、空調ダクト、配管、照明、点検空間などを含めて階高を決める。

イ．必要天井高と階高は同じ寸法として扱う。

ウ．梁や設備は竣工時に調整できるため、基本計画段階では考慮しない。

エ．階高を小さくするほど維持管理性も必ず向上する。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。階高は室内の天井高だけではなく、構造と設備の納まりを含めて設定する。

イ：階高には床・梁・設備スペース等が含まれるため、一般に天井高と同一ではない。

ウ：階高は構造・設備計画に大きく影響するため、基本計画段階から調整が必要である。

エ：過度な階高縮小は設備更新や点検の余裕を失わせ、維持管理性を低下させることがある。

総合解説：階高は建築・構造・設備の統合指標である。将来の更新性や改修性まで考慮すると、単純な最小化が最適とは限らない。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0010

1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：標準

集合住宅の共用階段について、通行時の頭上安全を確保する計画として適切なものはどれか。

ア．約1.2 mを確保すればよい。

イ．段裏等から下方の段鼻までの最小高さとして約2 mを確保する。

ウ．踊場だけ2 mを確保し、階段途中の段裏高さは考慮しない。

エ．手すり高さを確保すれば、頭上クリアランスは不要である。

答え・解説

正答：イ

ア：成人が安全に通行できる頭上高さとして著しく不足する。

イ：適切。階段では進行方向の頭上クリアランスを確保し、頭部衝突を防止する必要がある。

ウ：階段途中でも頭上衝突が生じるため、連続して必要なクリアランスを確認する。

エ：手すりとは頭上クリアランスは別の安全条件である。

総合解説：階段では踏面・蹴上げ・幅員だけでなく、頭上高さや手すり、踊場を含めた三次元的な安全確認が必要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0011 1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：応用

療養病床をもつ病棟の廊下計画として、適切な例はどれか。

ア．片側・両側居室とも0.9 mで統一する。

イ．両側居室部分を片側居室部分より狭くする。

ウ．患者が使用する廊下について、片側居室部分2.0 m、両側居室部分3.0 m程度の有効幅を確保する。

エ．廊下幅は病室の扉幅だけで決め、搬送方向や待避を考慮しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：ベッド搬送やすれ違いに著しく不足する。

イ：両側から人やベッドが出入りするため、一般により大きな幅員が求められる。

ウ：適切。病棟ではベッド搬送や車椅子のすれ違いを想定し、一般廊下より大きな有効幅が必要となる。

エ：病棟廊下は搬送・避難・すれ違いを含む運用から決定する必要がある。

総合解説：病院ではベッド、ストレッチャー、車椅子、スタッフが同時に動くため、廊下幅は単なる歩行者寸法ではなく運用寸法として計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0012 1-1 計画原論・各部計画 > 寸法・モジュール・各部計画 | 難易度：基礎

高齢者や障害者の利用に配慮した階段手すりの計画として、最も適切なものはどれか。

ア．踊場では手すりをいったん途切れさせる。

イ．最上段・最下段の段鼻位置で手すりを直ちに切る。

ウ．手すりは壁側に設けず、階段中央だけに設ける。

エ．踊場でも手すりを連続させ、階段端部では段鼻を越えて水平に延長する。

答え・解説

正答：エ

ア：移動中の連続した支持が失われるため望ましくない。

イ：端部の水平延長がないと、昇降開始前・終了後の支持が得にくい。

ウ：利用者が選択できるよう、動線や階段幅に応じて壁側等にも適切に設ける。

エ：適切。連続した把持と、階段開始・終了位置の認知を助ける。

総合解説：階段手すりは連続性が重要で、端部の水平延長は身体支持と位置認識の双方に有効である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0013 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：基礎

ホテルの動線計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．宿泊客の主動線と、リネン搬送・廃棄物搬送等のサービス動線をできるだけ分離する。
- イ．宿泊客用ロビーをリネン搬送の主要経路とする。
- ウ．厨房への搬入動線を客室階の共用廊下経由とする。
- エ．清掃員のバックヤードへの移動は、必ず正面玄関を経由させる。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。交錯を減らすことで快適性、衛生性、運営効率を高められる。

イ：客動線とサービス動線が常時交錯し、快適性と運営効率を損なう。

ウ：サービス搬入は客室動線と分離するのが基本である。

エ：業務動線として遠回りとなり、利用者動線とも交錯する。

総合解説：用途ごとに必要な動線を分け、交差させる場合は場所と回数を制御することがゾーニングの基本である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0014 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：標準

事務所のエントランスから執務室までのアクセス計画として、適切な考え方はどれか。

- ア．最も機密性の高い執務室を、来訪者が直接入れる正面玄関脇に配置する。
- イ．公道・公開ロビー・受付・執務エリアの順に、セキュリティレベルを段階的に高める。
- ウ．受付を執務エリアの奥に置き、来訪者を全執務空間に通過させる。
- エ．公開領域と制限領域の境界を曖昧にし、カード認証等を設けない。

答え・解説

正答：イ

ア：セキュリティ区画を経ないため不適切である。

イ：適切。利用者の属性に応じ、公開領域から制限領域へ段階的に移行させる。

ウ：受付前に制限区域へ入ることになり、管理しにくい。

エ：権限に応じたアクセス管理が困難になる。

総合解説：セキュリティ計画では、領域を公開・半公開・制限などに段階化し、境界で認証や受付を行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0015 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：標準

総合病院の部門配置として、最も適切なものはどれか。

ア．外来部門を病棟部門の最奥部に配置し、全外来患者を病棟内に通す。

イ．病棟への搬送動線と一般外来動線を完全に同一とする。

ウ．外来部門は来院者が到達しやすい位置に置き、診療部門と連携しつつ病棟部門の静穏性を確保する。

エ．外来部門と診療部門の近接性は考慮せず、均等距離になるようランダムに配置する。

答え・解説

正答：ウ

ア：外来者が病棟を通過し、病棟の静穏性や感染管理を損なう。

イ：搬送や緊急対応と一般来院者の動線は可能な限り整理・分離する。

ウ：適切。外来は来院頻度が高く、病棟は入院生活の場であるため、両者の動線特性を分ける。

エ：診療の連携頻度を考慮した近接配置が必要である。

総合解説：病院は部門間連携が重要である一方、外来・救急・入院・物流など異なる動線を整理する必要がある。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0016 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：基礎

災害時に指定避難所として使用される学校の計画として、最も適切なものはどれか。

ア．避難所利用者が全ての教室を自由に通過できる一体動線とする。

イ．体育館と校舎を完全に切り離し、相互連絡を不可能にする。

ウ．災害時の利用は運用で対応し、平面計画では一切考慮しない。

エ．避難所として使う区域と教育活動に使う区域を区画し、動線も必要に応じて分離できるようにする。

答え・解説

正答：エ

ア：教育再開時のゾーニングや防犯・衛生管理が難しくなる。

イ：必要な支援や設備利用まで妨げるため、管理可能な連絡を確保するほうが合理的である。

ウ：学校は地域の避難拠点になることがあり、平常時から転用可能性を考えることが重要である。

エ：適切。避難所運営を続けながら教育活動を早期再開しやすくなる。

総合解説：フェーズフリーの観点でも、平常時と災害時の使い方を両立できるゾーニングや設備計画が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0017

1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：標準

劇場のホワイエの計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．もぎり後の観客が開演前や幕間に滞留・休憩できる十分な空間として設ける。
- イ．舞台裏の大道具搬入口と兼用する。
- ウ．観客が一切滞留できない幅の通路として計画する。
- エ．客席から最も遠い建物外部にだけ設ける。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。ホワイエは客席前の滞留、休憩、交流を受け止める重要な観客空間である。

イ：観客動線と舞台サービス動線が交錯する。

ウ：開演前や幕間には集中的な滞留が生じるため不足する。

エ：客席への前室的役割を果たせず、幕間利用にも不便である。

総合解説：劇場では観客の到着・待機・入場・休憩・退出が時間的に集中するため、ホワイエの容量と客席との接続が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0018

1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：応用

入院患者が自力で階段避難しにくい病院の病室階について、防災計画上有効な考え方はどれか。

- ア．火災時は全患者を直ちに階段で地上まで避難させることだけを前提とする。
- イ．同一階に防火・防煙上区画された複数の安全な区域を設け、水平避難を可能にする。
- ウ．病室階を一室空間とし、防火防煙区画を設けない。
- エ．安全区画は地下階にのみ設け、病室階には設けない。

答え・解説

正答：イ

ア：患者の状態や搬送条件から、垂直避難だけに依存する計画は現実的でない。

イ：適切。病院ではまず同一階の安全区画へ移す水平避難が重要な手段となる。

ウ：煙や火災の拡大を抑えられず、待避先を確保できない。

エ：病室階内での初期避難先を確保することに意味がある。

総合解説：病院・福祉施設では避難行動に時間を要する利用者が多いため、水平避難や一時待避を組み込んだ計画が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0019 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：標準

多数の初来訪者が利用する公共施設のエントランス計画として、最も適切なものはどれか。

ア．受付を入口から見えない最奥部に置き、複数の分岐を通過させてから到達させる。

イ．主要室名の案内を設けず、利用者の経験に委ねる。

ウ．入口から受付・案内が見つけやすく、主要目的室へ向かう分岐を早い段階で理解できる構成とする。

エ．入口付近にサービス搬入口を優先配置し、一般利用者動線を迂回させる。

答え・解説

正答：ウ

ア：初来訪者の判断回数が増え、迷いや逆行が生じやすい。

イ：公共施設では初来訪者も想定し、案内・サインを計画する必要がある。

ウ：適切。初来訪者の迷いを減らすには、入口から判断点を認識しやすくすることが重要である。

エ：利用者の主動線よりサービス動線を優先すると利便性が低下する。

総合解説：動線計画では、入口から目的地までの経路の単純さ、分岐点の明確さ、受付の視認性が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0020 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：標準

認知症高齢者グループホームの空間構成として、最も適切なものはどれか。

ア．居室を長大な直線廊下の両側に並べ、共用空間を最遠部に一か所だけ設ける。

イ．共用空間を廃止し、全ての生活行為を各居室内で完結させる。

ウ．職員動線だけを優先し、利用者から居間や食堂が認識できない構成とする。

エ．居室から居間・食堂等の共用空間へ短く分かりやすく移動でき、家庭的なスケールで生活を把握しやすくする。

答え・解説

正答：エ

ア：施設的で長い移動となり、生活のまとまりや見守りを損ないやすい。

イ：共同生活を通じた日常生活支援という施設特性に合わない。

ウ：利用者自身の場所認識や自発的な生活行為を妨げる。

エ：適切。小規模な生活単位と分かりやすい空間関係が、生活の継続性や見守りに有効である。

総合解説：グループホームでは、小規模な生活単位、家庭的な共用空間、短く理解しやすい動線を組み合わせることが基本となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0021 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：応用

大規模病院のウェイファインディング計画として、最も適切なものはどれか。

ア．サイン、色、番号、ランドマーク、見通しなど複数の手掛かりを組み合わせる。

イ．全経路を色だけで区別し、文字や番号は使用しない。

ウ．分岐点を増やし、どの経路でも同じ外観にする。

エ．案内表示は目的室の直前だけに設け、入口や分岐点には設けない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。一つの感覚情報だけに依存せず、利用者が経路を理解しやすい冗長な情報体系とする。

イ：色覚特性等により識別しにくい利用者があるため、色だけへの依存は避ける。

ウ：判断点が増え、場所の識別もしにくくなる。

エ：経路選択が必要な場所で情報が得られず、迷いやすくなる。

総合解説：ウェイファインディングでは、情報の一貫性、分岐点での適時提示、視覚以外も含む複数の手掛かりが有効である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0022 1-1 計画原論・各部計画 > 動線・ゾーニング・空間構成 | 難易度：基礎

建築計画で隣接関係を定める際の原則として、最も適切なものはどれか。

ア．すべての室を同じ距離で配置し、利用頻度は考慮しない。

イ．相互利用頻度が高い室は近接させ、騒音・臭気・セキュリティ等で干渉する室は必要に応じて分離する。

ウ．騒音を発生する室ほど静穏を要する室に接して配置する。

エ．セキュリティ要求の高い室を公開空間の通り抜け動線上に置く。

答え・解説

正答：イ

ア：利用頻度の差を無視すると動線が不必要に長くなる。

イ：適切。隣接関係は近さだけでなく、相互作用と干渉の双方から決める。

ウ：相互干渉が大きくなるため、遮音や距離による分離が必要である。

エ：アクセス制御が困難になり、機密性を損なう。

総合解説：隣接関係は、行為の関連性、移動量、騒音・臭気・衛生・セキュリティなどを整理して決定する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0023

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：基礎

公共図書館のバリアフリー計画を進める方法として、最も適切なものはどれか。

ア．完成後に利用者の意見を初めて聞き、必要な変更は全て運用だけで対応する。

イ．設計者だけで利用者像を推定し、当事者の意見は原則として聞かない。

ウ．基本構想・基本計画段階から、障害当事者や施設利用者、運営者等との意見交換を行う。

エ．法定最低基準だけを満たせば、多様な利用者の使い方は検討しなくてよい。

答え・解説

正答：ウ

ア：完成後では大きな空間変更が難しく、初期段階の参画が重要である。

イ：利用上の障壁は設計者だけでは把握しにくく、当事者参画が有効である。

ウ：適切。早期に多様なニーズを把握するほど、平面・設備・運用へ反映しやすい。

エ：最低基準への適合に加え、実際の使いやすさを検討することが求められる。

総合解説：ユニバーサルデザインでは、多様な利用者の実際の行動や困りごとを設計初期から把握し、空間・設備・運用へ反映する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0024

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：標準

多数の来店者が利用する物販店舗で、車椅子利用者用駐車施設と一般の優先駐車区画を併設する計画について、適切なものはどれか。

ア．優先駐車区画を設ければ、車椅子利用者用駐車施設は不要とする。

イ．車椅子利用者用駐車施設を建物出入口から最も遠い位置にまとめる。

ウ．駐車区画から出入口までの歩行経路は段差があってもよい。

エ．車椅子利用者用駐車施設とは別に、妊婦やけが人等のための優先駐車区画も出入口近くに設ける。

答え・解説

正答：エ

ア：車椅子利用者用駐車施設には乗降スペース等の固有要件があり、代替できない。

イ：移動負担を軽減するため、出入口に近い位置が基本となる。

ウ：駐車区画だけでなく、出入口まで連続した移動しやすい経路が必要である。

エ：適切。移動に配慮が必要な利用者は多様であり、車椅子利用者用区画とは別の優先区画を設ける考え方がある。

総合解説：駐車場のバリアフリーは、区画の種類・幅だけでなく、建物出入口までの連続した経路と安全な乗降を含めて計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0025

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：標準

杖使用者や子どもなど多様な利用者に配慮した公共施設の階段手すりとして、適切な例はどれか。

ア．両側に高さ約650 mmと850 mmの二段手すりを設ける。

イ．高さ1,400 mmの手すりを一段だけ設ける。

ウ．床面近くの高さ300 mmに一段だけ設ける。

エ．手すりは階段の途中だけに設け、踊場では設けない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。異なる身長や身体状況に対応しやすい。

イ：一般利用者が把持しにくい高さである。

ウ：歩行時の支持として低すぎる。

エ：連続して支持できることが重要である。

総合解説：二段手すりは利用者の身体寸法の違いに対応する代表的な方法であり、連続性と端部処理も併せて検討する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0026

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：応用

車椅子使用者用便房の腰掛け便器まわりの手すり計画として、適切なものはどれか。

ア．便器の両側に床から天井までの固定壁を設け、側方移乗を不可能にする。

イ．固定側のL型手すりと反対側の可動手すりを組み合わせ、移乗を支援する。

ウ．手すりを便座から大きく離し、座位では届かない位置に設ける。

エ．手すりは視覚的な目印であり、身体荷重を支持する必要はない。

答え・解説

正答：イ

ア：車椅子からの側方移乗に必要な空間を失う。

イ：適切。両側で身体を支持しつつ、移乗側のスペースを確保できる。

ウ：実際の利用姿勢から到達できる位置に配置する必要がある。

エ：手すりは移乗・立ち座り時の身体支持に用いるため、強度と固定性が必要である。

総合解説：便房では、便器への接近方向、移乗スペース、支持具、操作部を一体で計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0027

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：基礎

高齢者が多く利用する施設のサイン計画として、最も適切なものはどれか。

ア．背景と文字を同じ明度にして、色相だけで区別する。

イ．文字を極端に小さくし、サインの枚数を増やす。

ウ．背景と文字の明度差を大きくし、文字サイズや照明も併せて読みやすくする。

エ．光沢の強い反射面だけを用いて、照明の映り込みを積極的に増やす。

答え・解説

正答：ウ

ア：明度差が小さいと文字が認識しにくくなる。

イ：情報量が増えても読めなければ案内性は向上しない。

ウ：適切。白内障など視覚特性の変化に対して、十分なコントラストと読みやすさが有効である。

エ：グレアや映り込みは視認性を低下させる。

総合解説：サインは色だけに頼らず、明度差、文字サイズ、ピクトグラム、照明、設置高さを組み合わせて計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0028

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：標準

劇場の車椅子使用者用客席の計画として、最も適切なものはどれか。

ア．最前列の一か所に全て集中させ、他の位置には設けない。

イ．前列の観客が立つと舞台が全く見えなくてもよい。

ウ．同伴者は必ず車椅子席から離れた別階に座らせる。

エ．舞台へのサイトラインを確認し、可能な範囲で異なる位置に分散して選択肢を確保する。

答え・解説

正答：エ

ア：選択肢がなく、演目や同行者との関係にも対応しにくい。

イ：車椅子使用者の視点高さを考慮したサイトライン確認が必要である。

ウ：同行者が近くで観覧できる配置を考慮する必要がある。

エ：適切。見え方を確保し、座席位置の選択肢を持たせることが重要である。

総合解説：劇場では車椅子席の数だけでなく、視線、同伴者、避難、位置の選択可能性まで含めて計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0029

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：応用

超高層建築物や医療福祉施設の避難計画として、有効な考え方はどれか。

- ア．避難経路の途中や途中階に、一時的に安全を確保できる待避空間を設ける。
- イ．避難に時間を要する利用者も全員が同じ速度で地上まで移動できると仮定する。
- ウ．一時待避空間は避難経路から離れた行き止まりに設ける。
- エ．医療施設では水平避難や待避を考えず、エレベーター利用だけを前提とする。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。外部まで一気に避難しにくい利用者に対し、段階的な避難を可能にする。

イ：利用者の身体状況や搬送条件の差を無視している。

ウ：避難経路との連続性や救助アクセスを考慮する必要がある。

エ：火災時のエレベーター利用制限等を踏まえ、複数の避難手段を計画する。

総合解説：安全計画は、利用者の避難能力の違いを前提に、水平避難・一時待避・救助活動を組み合わせて構成する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0030

1-1 計画原論・各部計画 > ユニバーサルデザイン・安全計画 | 難易度：標準

フェーズフリーの考え方を最も適切に説明しているものはどれか。

- ア．年齢や障害の有無にかかわらず、多様な人が利用しやすいように設計することだけを意味する。
- イ．平常時に使うものや空間を、災害時にも役立つように日常と非常時の境界を小さくする考え方である。
- ウ．建築物の用途を災害時には一切変更しない考え方である。
- エ．災害専用設備を日常時には完全に封鎖して利用しないことを基本とする。

答え・解説

正答：イ

ア：これは主としてユニバーサルデザインの説明である。

イ：適切。日常利用と非常時利用を分断せず、普段の価値と防災価値を両立させる。

ウ：フェーズフリーは日常資源を非常時にも活用できるようにする考え方である。

エ：災害専用化ではなく、日常的に価値を持つものを非常時にも活かす発想が中心である。

総合解説：ユニバーサルデザインは利用者の多様性への配慮、フェーズフリーは平常時と非常時の連続性に着目する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0031

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：基礎

SI住宅の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア．住戸内の間仕切りを全て耐力壁として固定し、変更できなくする住宅である。
- イ．建物寿命を短くし、短期間で建替えることを前提とする住宅である。
- ウ．構造躯体など長寿命部分と、間仕切り・設備など更新しやすい部分を分離して計画する住宅である。
- エ．設備配管を躯体に完全に埋め込み、交換できないようにする住宅である。

答え・解説

正答：ウ

ア：SI住宅は内部変更の自由度を高める方向の考え方である。

イ：長寿命化と更新性の確保が目的である。

ウ：適切。スケルトンとインフィルを分けることで、住戸内部の変更や設備更新に対応しやすくなる。

エ：設備更新を容易にするため、躯体との分離が重視される。

総合解説：SI住宅は長寿命の躯体と可変・更新部分を分離し、ライフスタイル変化や設備更新に対応する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0032

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

集合住宅のリビングアクセス形式について、最も適切な説明はどれか。

- ア．共用廊下側には無窓の倉庫だけを配置し、居住者の気配を完全に消す形式である。
- イ．全住戸を地下に配置し、地上の共用空間だけを利用する形式である。
- ウ．住戸へのアクセスを専用エレベーターだけに限定する形式である。
- エ．共用廊下側にリビング・ダイニング等を配置し、住民間の交流や見守りを促すことを意図する形式である。

答え・解説

正答：エ

ア：共用側に生活空間を向けることが特徴である。

イ：リビングアクセスとは関係がない。

ウ：アクセス手段ではなく、共用空間側とリビング等の関係に特徴がある。

エ：適切。共用空間と住戸の生活空間の関係を積極的につくる形式である。

総合解説：リビングアクセスは共用空間に生活の気配が現れ、住民相互の交流や見守りを生みやすい一方、プライバシー調整も必要となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0033

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

住生活基本計画における最低居住面積水準の説明として、適切なものはどれか。

ア．単身世帯では、原則として住戸専用面積 25 m^2 が基準となる。

イ．単身世帯では原則 5 m^2 である。

ウ．世帯人数にかかわらず全世帯一律 25 m^2 である。

エ．最低居住面積水準は事務所の執務面積を定める指標である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。最低居住面積水準は健康で文化的な住生活の基礎として必要な面積水準である。

イ：生活に必要な基本空間を確保できず、基準値ではない。

ウ：世帯人数に応じて必要面積が変わる。

エ：住宅の居住面積に関する指標である。

総合解説：最低居住面積水準は世帯人数に応じた住宅面積の目安であり、誘導居住面積水準とは目的が異なる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0034

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：基礎

シルバーハウジング・プロジェクトの説明として、最も適切なものはどれか。

ア．急性期医療を行う病院病棟を住宅として登録する制度である。

イ．高齢者等が地域で自立して暮らせるよう配慮した住宅と、生活支援サービスを組み合わせる取組である。

ウ．全住戸を学生専用とする集合住宅制度である。

エ．短期観光客向けの宿泊施設を公営住宅に転用する制度である。

答え・解説

正答：イ

ア：医療施設ではなく住宅供給・生活支援の取組である。

イ：適切。住宅の物理的配慮と生活支援を組み合わせる点に特徴がある。

ウ：対象や目的が異なる。

エ：高齢者等の安定した居住を支えることが目的である。

総合解説：高齢者住宅では、バリアフリー等のハード面に加え、安否確認や生活相談などソフト面の支援が重要となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0035

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

サービス付き高齢者向け住宅について、最も適切な説明はどれか。

ア．入所者全員が医師の常時管理下で急性期治療を受ける病院である。

イ．リハビリテーションを中心に家庭復帰を目指す介護老人保健施設と同一である。

ウ．高齢者が居住する住宅として、一定のバリアフリー性を備え、安否確認・生活相談等のサービスを提供する。

エ．バリアフリーへの配慮や生活支援は制度上の特徴ではない。

答え・解説

正答：ウ

ア：住宅であり、急性期病院ではない。

イ：介護老人保健施設とは制度・目的が異なる。

ウ：適切。住宅としての居住安定を目的とし、必ずしも施設内でリハビリを行って家庭復帰を目指す施設ではない。

エ：高齢者の居住の安定を支えるため、住宅性能と基本サービスが重要である。

総合解説：高齢者向け住宅と介護保険施設は、居住の場か、医療・介護サービス提供施設かという制度目的を区別して理解する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0036

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：応用

コレクティブハウスの特徴として、最も適切なものはどれか。

ア．入居予定者が組合をつくり、土地取得から設計・発注まで共同で事業化する方式そのものを指す。

イ．全居住者が一つの寝室を共用し、専用住戸を持たない方式である。

ウ．共用空間を一切設けず、住民間の関係を持たないことを目的とする。

エ．各世帯の独立した住戸に加え、共用の食堂や居間等をもち、居住者が共同生活の一部を担う住まい方である。

答え・解説

正答：エ

ア：これはコーポラティブハウスの説明に近い。

イ：コレクティブハウスでも各世帯の独立性は確保される。

ウ：共用空間と共同的な暮らしが特徴である。

エ：適切。プライバシーを保つ専用住戸と、共同利用空間を組み合わせる。

総合解説：コレクティブハウスは「暮らし方」の共同性、コーポラティブハウスは入居者が主体となる「事業方式」の共同性という違いを押さえる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0037

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：基礎

住宅計画におけるデュアルリビングの説明として、最も適切なものはどれか。
ア．接客用と家族用など、性格の異なる二つのリビングを設ける計画である。
イ．一つのリビングを昼と夜で交互に分割する可動床方式である。
ウ．リビングを設けず、寝室だけで生活する住宅形式である。
エ．二世帯住宅の玄関を必ず一つにする方式である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。利用目的の異なる二つの居間を使い分ける。
イ：デュアルリビングの一般的な意味ではない。
ウ：居間を二つ設ける考え方と逆である。
エ：玄関形式ではなく、リビングの機能分化に関する用語である。
総合解説：デュアルリビングでは、フォーマルな接客と家族の日常生活など、異なる生活場面を空間的に分ける。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0038

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

住宅地の道路計画におけるボンエルフ方式として、最も適切なものはどれか。
ア．道路を高速走行しやすい直線にし、歩行者を常に地下道へ移す。
イ．シケインや舗装の工夫等で自動車の速度を抑え、歩行者と自動車の共存を図る。
ウ．住宅地内の全道路を自動車専用道路とする。
エ．道路幅を広げることで自動車速度を上げる。

答え・解説

正答：イ

ア：生活道路の速度抑制という目的に反する。
イ：適切。通過交通の速度を抑え、生活道路としての安全性を高める考え方である。
ウ：歩車共存を図る方式ではない。
エ：ボンエルフはむしろ速度抑制のための空間的工夫を行う。
総合解説：ボンエルフは生活道路で車を主役にせず、道路形状・舗装・植栽等を使って速度を抑える歩車共存の手法である。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0039

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

住宅地の防犯計画で、オスカー・ニューマンの「まもりやすい空間」の考え方に沿うものはどれか。

ア．誰の領域が分からない空間をできるだけ増やす。

イ．住戸から共用空間が全く見えないようにする。

ウ．公共空間から半公共・半私的・私的空間へ段階的に領域を構成し、居住者の見守りを働かせる。

エ．敷地内の全空間を同じ公開度とし、境界をなくすことだけを目的とする。

答え・解説

正答：ウ

ア：管理主体が不明確な空間は防犯上不利になりやすい。

イ：自然監視の機会を失う。

ウ：適切。領域性と自然監視を高め、居住者が空間を管理しやすくする。

エ：公開度に段階を設け、領域性を明確にすることが重要である。

総合解説：防犯環境設計では、領域性、自然監視、アクセスコントロールなどを組み合わせ、犯罪機会を減らす。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0040

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：応用

戸建住宅のゾーニングとして、最も適切なものはどれか。

ア．来客が個室を通過しなければ居間へ行けない構成とする。

イ．浴室を玄関ホール中央に置き、来客動線と必ず交差させる。

ウ．家族用と来客用の動線関係を一切考えずに室を配置する。

エ．玄関・客間等の比較的公開性の高い領域から、家族共用領域、個室等の私的領域へ段階的に構成する。

答え・解説

正答：エ

ア：私的領域への不要な侵入が生じる。

イ：生活上のプライバシーを損ないやすい。

ウ：住宅でも生活行為と来客の関係を整理する必要がある。

エ：適切。来客動線と家族生活を整理し、プライバシーを調整しやすい。

総合解説：住宅では空間の公開度を段階化し、来客・家族・サービス動線を調整することでプライバシーと使いやすさを両立する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0041

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

集合住宅の住棟形式について、最も適切な説明はどれか。

ア：中廊下型は一つの廊下から両側の住戸へアクセスでき効率が高い一方、住戸の二面採光・通風を確保しにくい場合がある。

イ：中廊下型では全住戸が必ず四面採光になる。

ウ：片廊下型は廊下の両側に住戸を配置する形式である。

エ：住棟形式は採光・通風・プライバシーに影響しない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。アクセス効率と住戸環境のトレードオフがある。

イ：廊下両側に住戸を配置するため、一般に外気に面する方向が限定される。

ウ：片廊下型は廊下の片側に住戸を配置する。

エ：住戸の外気面、共用廊下との関係などに大きく影響する。

総合解説：集合住宅では、アクセス効率だけでなく、採光・通風・プライバシー・避難・構造計画を総合して住棟形式を選ぶ。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0042

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：基礎

高層集合住宅の排水立て管の維持管理計画として、最も適切なものはどれか。

ア：共用排水立て管を全て専有部の奥に隠し、点検口を設けない。

イ：共用配管は、可能な限り共用部から点検・更新できる位置に配置する。

ウ：配管は躯体に完全に埋め込み、交換を想定しない。

エ：漏水時の確認経路は不要とし、仕上げを破壊して確認することを前提とする。

答え・解説

正答：イ

ア：点検・更新が困難になり、長期利用上不利である。

イ：適切。専有住戸へ立ち入らずに保守できると、更新時の影響を小さくできる。

ウ：設備は躯体より更新周期が短いため、交換可能性を考慮する。

エ：維持管理性を考慮した点検経路を設けることが望ましい。

総合解説：集合住宅の長寿命化には、構造躯体だけでなく、設備の点検・修繕・更新を容易にする計画が欠かせない。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0043

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：標準

実験集合住宅NEXT21に関する説明として、最も適切なものはどれか。

ア．全住戸を同一間取りに固定し、改修を禁止することを目的とした住宅である。

イ．木造平家の伝統民家を移築した住宅群である。

ウ．構造躯体と住戸内部の可変部分を分け、住まい方や設備の変化に対応する実験的な集合住宅である。

エ．短期滞在型ホテルとしてのみ利用される施設である。

答え・解説

正答：ウ

ア：可変性や更新性の検証と逆である。

イ：NEXT21は都市型の実験集合住宅である。

ウ：適切。SI的な考え方や環境・設備技術の実証が行われてきた。

エ：住宅としての実証を目的とする。

総合解説：NEXT21は、住宅の長寿命化、可変性、設備更新、環境技術などを実際の居住を通じて検証する代表的な実験集合住宅である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0044

1-2 住宅・各種建築 > 住宅・集合住宅 | 難易度：応用

都市住宅でコートハウス形式を採用する主な利点として、最も適切なものはどれか。

ア．中庭を設けるほど全ての室の外気接触が必ずなくなる。

イ．道路側に全面開放することだけを目的とする形式である。

ウ．中庭は採光や通風に利用できないため、設備機械室としてのみ使う。

エ．外部道路側のプライバシーを確保しつつ、中庭側から採光・通風や屋外生活空間を得やすい。

答え・解説

正答：エ

ア：中庭自体が採光・通風の外部空間として機能する。

イ：むしろ道路側の視線を制御し、中庭に開く計画が多い。

ウ：中庭は居住環境をつくる重要な外部空間となる。

エ：適切。外周を閉じ気味にし、中庭に開くことで都市環境と居住環境を調整できる。

総合解説：コートハウスは、密集市街地でもプライバシーと外部環境への開放性を両立しやすい住宅形式である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0045

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：基礎

大学図書館にラーニングコモンズを設ける目的として、最も適切なものはどれか。

ア．対話型学習やグループ学習など、協働的な学びを支援する。

イ．全ての会話を禁止し、個人閲覧席だけを設ける。

ウ．図書の保存庫として立入禁止にする。

エ．設備管理者だけが利用するバックヤードとする。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。静粛な個人閲覧だけでなく、対話・発表・情報活用を伴う学習に対応する。

イ：ラーニングコモンズの協働学習支援という目的に反する。

ウ：利用者の学習活動を支える空間である。

エ：学生等の学習者が主体的に利用する空間である。

総合解説：大学図書館では、静かな閲覧空間と、対話やICT活用を伴う学習空間を適切にゾーニングすることが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0046

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

施設一体型の義務教育学校の職員室計画として、最も適切なものはどれか。

ア．教職員が相互に接触しないよう、建物の両端に完全分離する。

イ．小学校段階と中学校段階の教職員が連携しやすいよう、共同利用できる職員室を設ける。

ウ．職員室を校外に設け、児童生徒の活動から切り離す。

エ．職員室を設けず、全教職員が常時廊下で執務する。

答え・解説

正答：イ

ア：施設一体型の利点である教職員連携を損なう。

イ：適切。9年間を通じた教育連携や学校運営の円滑化に寄与する。

ウ：日常の教育活動との連携が困難になる。

エ：執務・打合せ・情報管理に必要な機能を確保できない。

総合解説：学校種間の接続を重視する施設では、教職員の共同利用空間や情報共有のしやすさが計画上の重要点となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0047

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

指定避難所となる小学校の平面計画として、最も適切なものはどれか。

ア．避難所利用者が必ず全普通教室を通過する動線とする。

イ．避難所用トイレや備蓄へのアクセスを考えない。

ウ．体育館等の避難所利用区域と教育区域を必要に応じて分け、双方の出入口・動線を管理できるようにする。

エ．地域利用を想定せず、学校関係者以外は敷地に入れない構成に固定する。

答え・解説

正答：ウ

ア：教育区域の管理や防犯、衛生面で問題が生じやすい。

イ：災害時の継続利用に必要な機能を平常時から計画する必要がある。

ウ：適切。避難所運営中でも教育再開や学校安全を確保しやすい。

エ：指定避難所としての地域利用と両立できない。

総合解説：学校施設は教育施設であると同時に地域防災拠点となる場合があり、平常・災害の両方で管理可能なゾーニングが必要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0048

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：基礎

中学校の音楽教室の室内形状として、最も適切な考え方はどれか。

ア．表面が平滑な凹形ドーム天井として、音を一点に集中させる。

イ．向かい合う平行な硬質壁だけで構成し、吸音材を一切用いない。

ウ．音響性能は学習活動に関係しないため、室形状は考慮しない。

エ．強い音の集中が生じないように、反射面の形状や吸音・拡散を検討する。

答え・解説

正答：エ

ア：凹曲面は音を集中させ、局所的な音圧増大を生じることがある。

イ：反射が繰り返され、音響障害が生じやすい。

ウ：演奏・聴取の明瞭性や近隣室への影響を考慮する必要がある。

エ：適切。音楽室では均一な音場を目指し、音の集中やフラッターエコーを抑える。

総合解説：音楽室では室容積、残響、吸音・拡散、遮音を総合し、局所的な音の集中を避ける。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0049

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

聴覚障害特別支援学校の普通教室の机配置として、適切なものはどれか。

- ア．教員と児童生徒、児童生徒同士の顔や手の動きが見やすい馬蹄形配置とする。
- イ．全員を同じ方向に向け、互いの顔が全く見えない高い間仕切りで区切る。
- ウ．教員を児童生徒から見えない背後に配置する。
- エ．教室照明を極端に暗くし、顔の表情が見えないようにする。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。口形・表情・手話等を相互に視認しやすくなる。

イ：視覚的コミュニケーションを妨げる。

ウ：口形や表情を確認できず、学習上不利である。

エ：視認性を確保する照明計画が重要である。

総合解説：特別支援学校では、障害特性に応じて視認性、音環境、移動、落ち着ける空間などを調整する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0050

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：応用

認知症対応型共同生活介護の共同生活住居（ユニット）について、現行基準に照らして適切なものはどれか。

- ア．1ユニットは30人以上を原則とする。
- イ．1ユニットの入居定員は5人以上9人以下で、居室は原則として個室とする。
- ウ．全居室を4人室とすることが原則である。
- エ．居間・食堂・台所等の日常生活設備は不要である。

答え・解説

正答：イ

ア：現行基準の小規模な共同生活単位と合わない。

イ：適切。家庭的な共同生活を営む小規模な生活単位として定められている。

ウ：居室は原則1人であり、例外的に2人とできる場合がある。

エ：共同生活を営むため、居間・食堂・台所等が必要である。

総合解説：認知症グループホームでは、5～9人の小規模なユニットと家庭的な共用空間を基本に、生活の継続性と見守りを支える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0051 1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：基礎

インクルーシブ教育に対応する学校施設の計画として、最も適切なものはどれか。

ア．全ての児童生徒に同一の環境だけを強制し、個別の調整を行わない。

イ．落ち着いたための小空間を懲罰専用室としてのみ使う。

ウ．通常の学習空間に加え、刺激を調整して落ち着ける小空間や多様な学び方に対応する場所を用意する。

エ．障害のある児童生徒は必ず別棟に分離し、共に学ぶ機会を設けない。

答え・解説

正答：ウ

ア：個々の教育的ニーズへの配慮が不足する。

イ：カームダウン空間は刺激を調整し、安心して学習へ戻るための支援空間である。

ウ：適切。児童生徒の教育的ニーズに応じて環境を選べるのが合理的配慮につながる。

エ：インクルーシブ教育の方向性と合わない。

総合解説：学校施設整備では、個別最適な学びと協働的な学びを両立し、必要に応じて刺激量や活動規模を選べる環境が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0052 1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

レスパイトケアの説明として、最も適切なものはどれか。

ア．介護者に休息を取らせず、24時間連続介護を義務付ける仕組みである。

イ．建築物の耐震診断だけを行う制度である。

ウ．入所者を恒久的に家族から隔離することだけを目的とする。

エ．在宅で介護する家族等が一時的に介護から離れ、休息や生活の立て直しを図れるよう支援する。

答え・解説

正答：エ

ア：レスパイトは介護者の休息を支える考え方である。

イ：福祉・介護の支援概念であり建築診断ではない。

ウ：一時的な支援を通じて在宅生活を支えることが中心である。

エ：適切。短期入所等を活用し、介護者の負担軽減と継続的な在宅生活を支える。

総合解説：福祉施設の計画では、利用者だけでなく家族や介護者の負担軽減を支える短期利用・交流機能も重要になる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0053

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

地域包括ケアシステムの考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア．住まい・医療・介護・予防・生活支援を地域の特性に応じて一体的に提供する。
- イ．医療だけを提供し、住まいや生活支援は対象外とする。
- ウ．全ての高齢者を大規模施設へ一律に移転させることを目的とする。
- エ．地域差を認めず、全国で同一の施設配置だけを義務付ける。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることを支える仕組みである。

イ：複数分野を一体的に組み合わせる点が特徴である。

ウ：地域での継続居住を支える方向性と逆である。

エ：地域特性に応じた体制づくりが重要である。

総合解説：地域包括ケアでは、単独施設の完結ではなく、地域内の住まい・医療・介護・生活支援のネットワークを考える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0054

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：応用

総合病院のICUの配置計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．手術部からできるだけ遠ざけ、患者搬送距離を最大化する。
- イ．手術部や救急部門等との患者搬送が迅速に行えるよう、相互の連携と近接性を重視する。
- ウ．一般来訪者が自由に通り抜ける主要通路の中央に配置する。
- エ．救急部門との連携は不要なので、別棟の最遠部に置くことを原則とする。

答え・解説

正答：イ

ア：術後の重症患者搬送などを考えると不合理である。

イ：適切。重症患者の搬送時間短縮と医療スタッフの連携が重要である。

ウ：感染管理・プライバシー・医療動線の面で不適切である。

エ：重症患者の受け入れを考え、救急部門との連携も重要である。

総合解説：病院の部門配置では、患者搬送頻度と緊急性を基に近接関係を定める。ICUは手術・救急等との連携が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0055

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

放射線治療部門の照射室の計画として、最も適切なものはどれか。

ア．一般事務室と同じ薄い間仕切りだけで囲う。

イ．放射線が外部へ漏れても運用で注意喚起すればよい。

ウ．治療装置に応じ、壁・天井等に十分な遮蔽性能をもたせ、放射線の漏洩を防止する。

エ．天井方向の遮蔽は一切検討しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：必要な遮蔽性能を確保できない。

イ：設備・建築として漏洩を防止することが必要である。

ウ：適切。リニアック等を用いる照射室では周辺への放射線防護が不可欠である。

エ：放射線の方向や周辺条件に応じ、壁・天井等を含めて検討する。

総合解説：医療施設では、医療機器の特性が建築構造・材料・部門配置に直接影響する。放射線治療室は代表例である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0056

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：基礎

空気感染対策を重視する感染症病室の計画として、最も適切なものはどれか。

ア．病室を廊下より常に正圧にし、病室内の空気を廊下へ流す。

イ．前室を設ける場合でも、外部と病室の扉を常時同時開放する。

ウ．排気設備は設けず、病室の空気を他室へ再循環させることだけを前提とする。

エ．病室を周囲に対して陰圧に保ち、前室を設けるなどして汚染空気が外へ流出しにくくする。

答え・解説

正答：エ

ア：空気感染対策では病室からの汚染空気流出を防ぐため陰圧が基本となる。

イ：圧力差を維持しにくくなり、前室の役割を損なう。

ウ：病原体の拡散を防ぐ排気・フィルター等の対策が必要である。

エ：適切。圧力差と前室により空気の流れを管理する。

総合解説：感染症病室では、陰圧、前室、排気、気密、手洗い等を組み合わせ、病原体が周辺へ広がらないようにする。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0057

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：標準

緩和ケア病棟の計画として、最も適切なものはどれか。

ア：患者のプライバシーを確保した個室を中心とし、患者や家族が使える食事・談話等の共用空間も設ける。

イ：患者と家族が過ごせる共用空間を一切設けない。

ウ：病室は常に大部屋だけとし、プライバシーを考慮しない。

エ：生活行為を排除し、医療処置だけを行える空間に限定する。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。療養生活の質と家族との時間を支える環境が重要である。

イ：療養生活の質や家族支援の観点から不利である。

ウ：緩和ケアでは個人の尊厳や家族との時間への配慮が重要である。

エ：療養生活の場として生活的な環境を整えることが重要である。

総合解説：緩和ケア病棟は治療機能だけでなく、患者と家族が落ち着いて過ごせる生活環境として計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0058

1-2 住宅・各種建築 > 教育・医療・福祉施設 | 難易度：応用

病院の病室階を防火防煙上複数の区画に分ける主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア：病室数を減らして収益性を下げることが目的である。

イ：火災時に、患者を階段で直ちに地上へ下ろさなくても同一階の安全側へ移せるようにするため。

ウ：煙を建物全体に均一に拡散させるため。

エ：患者搬送を不可能にするため。

答え・解説

正答：イ

ア：安全性の確保が主目的である。

イ：適切。水平避難によって段階的に安全を確保できる。

ウ：区画は煙・火災の拡大を抑制するために設ける。

エ：むしろ搬送しやすい安全な待避先をつくる。

総合解説：自力避難が難しい患者を想定し、病院では同一階の別区画への水平避難を防火区画・動線計画と一体化する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0059

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：基礎

複数テナントへの分割貸しを想定する事務所基準階で、センターコア型を採用する利点として、最も適切なものはどれか。

ア．共用部分を各テナント内に分散し、必ず他テナントを通過させる。

イ．外周部を全てコアで塞ぎ、自然光を一切取り入れないことだけが目的である。

ウ．エレベーター、階段、便所等の共用部分を中央に集約し、周囲の執務空間を分割しやすくできる。

エ．コアを設けず、エレベーターや階段を毎日移動させる。

答え・解説

正答：ウ

ア：テナント独立性や避難・管理上不利である。

イ：センターコアは外周を執務空間として使いやすいことが利点の一つである。

ウ：適切。コアを集約することで外周執務空間の連続性と分割自由度を確保しやすい。

エ：固定した縦動線・設備系統をまとめるのがコアである。

総合解説：事務所のコア計画は、レントابل比、テナント分割、避難、設備幹線、自然採光などに影響する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0060

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：標準

事務所ビルの開口部計画で、夏期の日射負荷を抑える考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．東西面の開口を最大化すれば、必ず夏期熱負荷が最小になる。

イ．方位は日射負荷に影響しないので、外皮計画では考慮しない。

ウ．西面の日射は水平庇だけで完全に遮れるため、他の対策は不要である。

エ．東西面の低い太陽高度からの日射に配慮し、開口面積や外部遮蔽を検討する。

答え・解説

正答：エ

ア：東西面の日射取得が増え、熱負荷を高める場合がある。

イ：太陽高度・方位により日射取得は大きく変わる。

ウ：低角度日射には縦ルーバー等を含む検討が有効である。

エ：適切。東西面は朝夕の低角度日射が入りやすく、水平庇だけでは遮りにくい。

総合解説：事務所の方位計画では、採光と日射遮蔽を両立させ、特に東西面の低角度日射に注意する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0061 1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：標準

ABW (Activity Based Working) の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．業務内容に応じて、集中席・協働席・Web会議席など働く場所を選択する働き方である。

イ．本社機能を地方の一拠点だけに集約することを意味する。

ウ．全社員に同じ固定席だけを割り当て、席の選択を禁止する方式である。

エ．執務室を廃止し、屋外だけで勤務する制度である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。活動に合う環境を選ぶことを重視する。

イ：拠点移転ではなく、活動に応じた場所選択の考え方である。

ウ：ABWは活動に応じて場所を選べることが特徴である。

エ：多様な活動に適した複数のワークスペースを用意する。

総合解説：ABWでは、集中、協働、交流、オンライン会議など活動特性に合わせて空間を使い分ける。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0062 1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：基礎

高層事務所のエレベーター計画について、最も適切な説明はどれか。

ア．コンベンショナルゾーニングとは、上下二層のかごを一体で運行する方式そのものを指す。

イ．ダブルデッキエレベーターは上下二層のかごを一体で運行し、隣接する二つの階に同時対応できる方式である。

ウ．ダブルデッキでは一つのかごしか存在せず、全階に停止する。

エ．高層建築ではエレベーターの群分けや輸送計画を行わない。

答え・解説

正答：イ

ア：ゾーニングはサービス階を群分けする考え方で、ダブルデッキはかご構成の方式である。

イ：適切。輸送効率向上やシャフト面積削減を狙う方式の一つである。

ウ：上下二層のかごをもつことが特徴である。

エ：待ち時間や輸送能力を管理するため、ゾーニング等を検討する。

総合解説：高層建築では、サービス階のゾーニング、スカイロビー、ダブルデッキ等を組み合わせて輸送能力とコア面積を調整する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0063

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：標準

大規模店舗の駐車場出入口計画として、最も適切なものはどれか。

ア．入口と出口を同一点に重ね、入庫車と出庫車を常時正面衝突する配置とする。

イ．歩道を横断する位置では歩行者の安全確認を不要とする。

ウ．入口と出口を整理し、できるだけ左折入庫・左折出庫とするなど、道路交通や歩行者との交錯を減らす。

エ．駐車場から道路への見通しを植栽で完全に遮る。

答え・解説

正答：ウ

ア：車両動線の交錯を増やし安全性が低下する。

イ：歩行者動線との交差部は視認性や待機空間を含めた安全対策が必要である。

ウ：適切。右折待ちや対向交通との交錯を抑え、敷地内外の安全性を高める。

エ：出庫時の視認性が低下し、事故リスクが高まる。

総合解説：商業施設では、車両の入出庫動線、歩行者動線、荷さばき動線を相互に整理し、交錯点を減らす。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0064

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：応用

大規模複合施設の防災センターの配置として、最も適切なものはどれか。

ア．建物の最上階の奥に置き、屋外から最も遠くする。

イ．非常用エレベーターから完全に切り離し、連絡手段を設けない。

ウ．平常時の意匠だけを優先し、災害時のアクセスを考慮しない。

エ．消防隊が屋外から到達しやすく、非常用エレベーター等の消防活動拠点にもアクセスしやすい位置とする。

答え・解説

正答：エ

ア：消防隊の到達に時間を要する。

イ：消防活動との連携が困難になる。

ウ：防災センターは非常時運用を最優先に配置する。

エ：適切。災害時の情報収集・指令と消防活動の連携を迅速にできる。

総合解説：防災センターは建物全体の防災情報・設備を統括するため、消防隊の進入経路や非常用エレベーターとの関係が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0065

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：基礎

車椅子使用者用客室のベッド周りの計画として、最も適切なものはどれか。

ア．車椅子からベッドへ移乗しやすい側方スペースを確保し、家具がその動きを妨げないようにする。

イ．ベッド脇に床固定の大型家具を置き、側方接近をできなくする。

ウ．客室内の通路幅を車椅子が通れない寸法にする。

エ．家具配置は車椅子利用と無関係なので、接近空間を確認しない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。ベッド周りは接近・回転・移乗ができることが重要である。

イ：移乗スペースを塞ぎ、利用しにくくなる。

ウ：客室内でも連続した移動可能経路が必要である。

エ：家具の位置が有効通路・移乗スペースを大きく左右する。

総合解説：ホテルのバリアフリー客室では、出入口・通路・ベッド・浴室・収納・操作部を一連の利用行為として確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0066

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：標準

高層ホテルで非常用エレベーターを平常時にサービス用として活用する計画について、最も適切なものはどれか。

ア．非常用エレベーターは平常時には必ず封鎖し、人も物も一切利用してはならない。

イ．非常時の機能を損なわないことを前提に、リネン室等のサービス諸室との近接性を活かして平常時にサービス利用することがある。

ウ．サービス利用のためなら、非常時の消防活動機能を撤去してよい。

エ．サービス諸室と遠ざけるほど、平常時の運用効率は必ず高まる。

答え・解説

正答：イ

ア：非常時機能を確保しつつ、平常時に利用する計画はあり得る。

イ：適切。平常時の運用効率と非常時機能を両立させる計画が可能である。

ウ：非常用エレベーターとして必要な機能を損なってはならない。

エ：リネン等の搬送では近接性が効率に寄与する。

総合解説：高層建築では、非常時に必要な設備の性能を確保しながら、平常時の運用にも合理的に活用する設計が行われる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0067

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：標準

プロセニウムステージの舞台用語について、観客席から舞台を見た場合の説明として最も適切なものはどれか。

ア．観客から見て左側が上手、右側が下手である。

イ．上手・下手は舞台の高さだけを示し、左右方向とは関係しない。

ウ．観客から見て右側が上手、左側が下手である。

エ．上手は客席後方、下手は舞台奥を示す。

答え・解説

正答：ウ

ア：左右が逆である。

イ：舞台上の左右位置を示す用語である。

ウ：適切。舞台の上手・下手はこの対応で用いられる。

エ：前後方向ではなく左右方向の呼称である。

総合解説：舞台計画では、主舞台、後舞台、上手・下手側舞台、搬入、楽屋等の位置関係を正確に理解する必要がある。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0068

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：応用

劇場の車椅子使用者用客席のサイトライン検証として、最も適切なものはどれか。

ア．床面から舞台まで直線を引くだけで、利用者の眼高は考慮しない。

イ．車椅子席の位置を決めた後は、前席との高低差を確認しない。

ウ．サイトラインは客席計画と無関係なので、音響だけで席位置を決める。

エ．車椅子使用者の眼高を基準に、前方の観客が着席・起立する可能性も考慮して舞台の見え方を検証する。

答え・解説

正答：エ

ア：視線は利用者の眼位置から評価する必要がある。

イ：前席に視界を遮られないか検証が必要である。

ウ：劇場では視認性は客席品質の重要要素である。

エ：適切。視点高さと前列観客の状態が視認性を左右する。

総合解説：アクセシブルな客席計画では、単なるスペース確保ではなく、実際の視点から舞台が見えることを検証する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0069

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：基礎

美術館の展示室で自然光を利用する場合の計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．作品への紫外線や過大な照度を抑え、展示内容に応じて遮光・調光できるようにする。
- イ．全ての作品に直射日光が常時当たるようにする。
- ウ．展示物の材質にかかわらず同じ強い照度を一律に与える。
- エ．自然光は制御できないため、窓の位置や遮蔽装置を検討しない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。自然光の空間的魅力と、作品保存上の光環境管理を両立させる。

イ：退色や材料劣化を促進するおそれがある。

ウ：作品の光感受性に応じて照度・露光時間を調整する必要がある。

エ：トップライトやルーバー等で光を制御することが重要である。

総合解説：美術館では展示体験だけでなく保存環境が重要で、光・温湿度・空気質を作品特性に応じて管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0070

1-2 住宅・各種建築 > 事務所・商業・宿泊・文化施設 | 難易度：標準

美術館の動線計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．大型作品を常に正面玄関から一般来館者と同時に搬入する。
- イ．来館者動線とは別に、作品搬入口から収蔵庫・荷解室・展示室へつながる管理された搬送動線を確保する。
- ウ．収蔵庫から展示室への経路に不特定多数が自由に立ち入れるようにする。
- エ．作品搬入口と荷解室を建物の反対側に置き、屋外を長距離運搬させることを原則とする。

答え・解説

正答：イ

ア：安全・警備・運営上の交錯が大きい。

イ：適切。大型・貴重な作品を安全に搬送し、来館者との交錯を避けられる。

ウ：作品管理とセキュリティ上不適切である。

エ：搬送リスクを減らすため、関連諸室の近接が重要である。

総合解説：文化施設では、来館者、作品・資料、スタッフ、サービスの各動線を分け、必要な場所でのみ接続する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0071

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：基礎

平等院鳳凰堂について、最も適切な説明はどれか。

ア．鎌倉時代の禅宗様仏殿で、詰組と扇垂木を特徴とする。

イ．江戸時代の権現造社殿で、本殿と拝殿を石の間でつなぐ。

ウ．平安時代の阿弥陀堂で、中央の中堂に翼廊・尾廊が連なり、浄土思想を象徴する建築である。

エ．古代ローマの集中式神殿で、巨大なコンクリートドームをもつ。

答え・解説

正答：ウ

ア：これは禅宗様建築の特徴で、鳳凰堂とは異なる。

イ：これは日光東照宮等の権現造に関する説明である。

ウ：適切。池と建築を組み合わせ浄土世界を表現した代表的な阿弥陀堂である。

エ：日本の平安時代の寺院建築であり、パンテオンの説明ではない。

総合解説：平等院鳳凰堂は平安時代の浄土教建築を代表し、阿弥陀如来を安置する中堂を中心に左右対称的な翼廊・尾廊を構成する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0072

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：標準

円覚寺舍利殿の建築的特徴として、最も適切なものはどれか。

ア．寝殿造の住宅で、寝殿を中心に対屋と渡殿を配する。

イ．大社造の神社本殿で、切妻造・妻入を特徴とする。

ウ．近代の鉄筋コンクリート造で、ピロティと水平連続窓を特徴とする。

エ．禅宗様の建築で、扇垂木や柱間にも組物を置く詰組などがみられる。

答え・解説

正答：エ

ア：寺院の禅宗様仏殿であり寝殿造ではない。

イ：大社造は出雲大社本殿等の神社形式である。

ウ：中世木造寺院であり近代建築ではない。

エ：適切。禅宗様を代表する細部意匠が確認できる。

総合解説：禅宗様では、扇垂木、詰組、花頭窓など特徴的な細部が用いられる。円覚寺舍利殿は代表例である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0073

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：標準

出雲大社本殿にみられる大社造の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア．切妻造・妻入を基本とし、正面の柱間に対して入口が左右非対称となる構成をもつ。
- イ．寄棟造・平入で、前面に一間通りの庇を必ず付ける形式である。
- ウ．本殿と拝殿を石の間でつないだ権現造である。
- エ．中央に巨大なドームを架けた集中式平面である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。大社造を特徴づける形式である。

イ：大社造の基本形ではない。

ウ：権現造とは異なる。

エ：日本の神社建築の形式であり、ドーム建築ではない。

総合解説：大社造、神明造、住吉造など主要な神社建築様式は、屋根形式、入口方向、平面構成の違いを整理して覚える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0074

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：応用

日光東照宮社殿の形式として、最も適切なものはどれか。

- ア．三層の楼閣を池上に建てる寝殿造の代表例である。
- イ．本殿と拝殿を「石の間」でつなぐ権現造の代表例である。
- ウ．切妻造・妻入の大社造だけで構成される。
- エ．禅宗様の仏殿で、詰組と扇垂木のみを特徴とする。

答え・解説

正答：イ

ア：日光東照宮は神社建築であり寝殿造ではない。

イ：適切。江戸時代の華麗な装飾とともに権現造を代表する。

ウ：大社造の代表は出雲大社本殿である。

エ：神社社殿の権現造であり禅宗様仏殿ではない。

総合解説：権現造は本殿と拝殿の間を石の間でつなぐ複合社殿形式で、日光東照宮が代表例である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0075

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：基礎

東大寺二月堂や三徳山三仏寺投入堂にみられる「懸造」の特徴として、最も適切なものはどれか。

ア．地下に完全に埋設し、地表には屋根だけを出す。

イ．鉄骨トラスだけで大空間の無柱屋根をつくる近代構法である。

ウ．傾斜地や崖地に張り出した床を、長短の柱や架構で下方から支持する。

エ．床を地面に直接置き、柱を一切使用しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：懸造とは異なる。

イ：伝統木造建築の構法である。

ウ：適切。険しい地形に建築空間を張り出すための構法である。

エ：斜面から張り出す床を柱等で支持する点が特徴である。

総合解説：懸造は山岳寺院などで斜面や崖に対応するため用いられ、床下に高い柱組を形成する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0076

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：標準

慈照寺東求堂の同仁斎について、最も適切な説明はどれか。

ア．数寄屋造の完成形として茶室だけで構成された建物である。

イ．大社造の神社本殿である。

ウ．古代ギリシアのドリス式神殿である。

エ．付書院や違い棚を備え、書院造の成立過程を示す重要な空間である。

答え・解説

正答：エ

ア：同仁斎は書院造の形成に関係する空間で、数寄屋造の完成形という説明は不適切である。

イ：寺院の東求堂内部の書院であり神社ではない。

ウ：日本の室町期の建築である。

エ：適切。同仁斎は初期書院造を考えるうえで重要な遺構である。

総合解説：書院造の理解では、床・棚・付書院など座敷飾りの成立と、室町期から近世への発展を押さえる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0077

1-3 建築史・保存再生 > 日本建築史 | 難易度：標準

薬師寺東塔の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア．三重塔であるが、各層に裳階が付くため外観上は屋根が六つあるように見える。
- イ．五重塔で、上層ほど平面が大きくなる。
- ウ．禅宗様の扇垂木と詰組を特徴とする鎌倉期の建築である。
- エ．木造ではなく鉄筋コンクリート造の近代塔である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。三重塔に裳階が付く独特の外観をもつ。

イ：東塔は三重塔であり、五重塔ではない。

ウ：奈良時代に成立した古代寺院建築であり、禅宗様ではない。

エ：伝統木造の寺院塔である。

総合解説：薬師寺東塔は三重塔に各層の裳階を付すことで、リズムカルで六重に見える外観をつくる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0078

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：基礎

ローマのパンテオンについて、最も適切な説明はどれか。

- ア．ゴシック様式の双塔とバラ窓をもつ大聖堂である。
- イ．円形の大空間に巨大なドームを架け、頂部のオクルスから採光する古代ローマ建築である。
- ウ．木造軸組の禅宗様仏殿である。
- エ．デ・スタイルの住宅で、可動間仕切りを特徴とする。

答え・解説

正答：イ

ア：これはゴシック教会堂の特徴で、パンテオンとは異なる。

イ：適切。コンクリート技術を活かした大ドームとオクルスが特徴である。

ウ：古代ローマの石・レンガ・コンクリート系建築である。

エ：近代オランダ建築ではなく古代ローマ建築である。

総合解説：パンテオンは古代ローマのドーム技術と集中式空間を代表し、頂部のオクルスが内部の主要な採光源となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0079

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：標準

ハギア・ソフィア大聖堂の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．古代ギリシアのドリス式周柱神殿である。

イ．ロマネスクの修道院で、尖頭アーチと飛梁を主要特徴とする。

ウ．ペンデンティヴを用いて大ドームを支持し、バシリカ式と集中式を融合したビザンツ建築である。

エ．近代の鉄骨カーテンウォール校舎である。

答え・解説

正答：ウ

ア：ビザンツ時代のキリスト教会堂である。

イ：尖頭アーチや飛梁は主にゴシックの特徴であり、ハギア・ソフィアの説明ではない。

ウ：適切。巨大ドームを中心とする内部空間が特徴である。

エ：6世紀の歴史的宗教建築である。

総合解説：ペンデンティヴは方形平面上に円形ドームを載せるための重要な構成技術で、ハギア・ソフィアの大きな空間形成に用いられた。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0080

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：応用

パリのノートルダム大聖堂について、最も適切な説明はどれか。

ア．古代ローマの円形神殿で、頂部にオクルスをもつ。

イ．バロック宮殿で、幾何学式庭園と鏡の間をもつ。

ウ．プレーリーハウスの住宅で、深い軒と水平線を強調する。

エ．ゴシック様式の大聖堂で、西正面の双塔やバラ窓、周歩廊を備える。

答え・解説

正答：エ

ア：これはパンテオンの説明である。

イ：これはヴェルサイユ宮殿の特徴である。

ウ：これはフランク・ロイド・ライトの住宅作品に関する特徴である。

エ：適切。ゴシック大聖堂を代表する建築の一つである。

総合解説：ゴシック建築では、尖頭アーチ、リブ・ヴォールト、飛梁、ステンドグラス等による垂直性と光の空間が発達した。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0081

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：標準

シュパイヤー大聖堂の様式として、最も適切なものはどれか。

ア．ロマネスク様式で、重厚な壁体と塔をもつ大規模なバシリカ式教会堂である。

イ．初期ルネサンスの集中式礼拝堂である。

ウ．アール・ヌーヴォーの鉄とガラスの駅舎である。

エ．デ・スタイルの色面構成を用いた住宅である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。ドイツ・ロマネスクを代表する建築である。

イ：シュパイヤー大聖堂はロマネスクの代表例である。

ウ：中世の石造教会堂である。

エ：近代住宅ではない。

総合解説：ロマネスクは厚い壁、半円アーチ、ヴォールト、塔などを特徴とし、ゴシック以前の中世ヨーロッパ教会堂で発達した。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0082

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：基礎

サン・カルロ・アッレ・クアットロ・フォンターネ聖堂の特徴として、最も適切なものはどれか。

ア．厳格なドリス式周柱廊だけで構成される古代ギリシア神殿である。

イ．凹凸の曲面をもつファサードや楕円形平面のドームなど、動的なバロック表現をもつ。

ウ．鉄骨柱と大理石の自由な壁で構成される近代パヴィリオンである。

エ．木造の大社造神社本殿である。

答え・解説

正答：イ

ア：古代ギリシアではなく17世紀バロック建築である。

イ：適切。ボッロミーニによるバロック建築の代表作である。

ウ：これはミースのバルセロナ・パヴィリオンに近い。

エ：西洋のバロック教会堂である。

総合解説：バロック建築では、曲面、楕円、強い明暗や動きのある空間構成が発達した。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0083

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：応用

アテネのパルテノン神殿について、最も適切な説明はどれか。
ア．身廊上部のクリアストーリーから大量の自然光を取り入れる中世バシリカである。
イ．ペンデンティヴで巨大ドームを支持するビザンツ教会堂である。
ウ．外周にドリス式円柱をめぐらせた古代ギリシアの周柱式神殿である。
エ．ガラスカーテンウォールを用いた近代校舎である。

答え・解説

正答：ウ

ア：パルテノンの中世バシリカとして説明するのは誤りである。
イ：これはハギア・ソフィア等の特徴である。
ウ：適切。古典期ギリシア建築を代表する神殿である。
エ：古代ギリシアの石造神殿である。
総合解説：パルテノンはドリス式を基本とする周柱式神殿であり、ギリシア古典建築の比例・視覚補正の代表例でもある。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0084

1-3 建築史・保存再生 > 西洋建築史 | 難易度：標準

ウェストミンスター宮殿（英国国会議事堂）について、最も適切な説明はどれか。
ア．鏡の間と大規模な幾何学式庭園をもつフランス・バロック宮殿である。
イ．古代ローマのドーム神殿である。
ウ．デ・ステイルの抽象的住宅である。
エ．19世紀のゴシック・リヴァイヴァルを代表する建築で、尖塔や垂直性の強い外観をもつ。

答え・解説

正答：エ

ア：これはヴェルサイユ宮殿の説明である。
イ：時代・用途・様式が異なる。
ウ：20世紀オランダ近代建築ではない。
エ：適切。バロック宮殿ではなく、ゴシック復興様式の代表作である。
総合解説：歴史建築では名称だけでなく、時代・用途・様式を対応させることが重要である。ウェストミンスター宮殿はゴシック・リヴァイヴァル、ヴェルサイユ宮殿はバロックである。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0085

1-3 建築史・保存再生 > 近現代建築・保存再生 | 難易度：基礎

フランク・ロイド・ライトのロビー邸について、最も適切な説明はどれか。
ア．深い軒や水平線を強調し、草原の広がりと呼応するプレーリーハウスの代表例である。
イ．ピロティ・屋上庭園・水平連続窓など「近代建築の五原則」をそのまま示す住宅である。
ウ．デ・ステイルの原色と直交面だけで構成された住宅である。
エ．ガラスカーテンウォールのパウハウス校舎である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。水平性の強い外観と連続的な内部空間が特徴である。
イ：これはル・コルビュジエの近代建築の五原則に関係する。
ウ：これはシュレーダー邸の特徴に近い。
エ：用途・設計者とも異なる。
総合解説：ロビー邸はライトのプレーリースタイルを代表し、水平線、深い軒、暖炉を核とした空間構成などが特徴である。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0086

1-3 建築史・保存再生 > 近現代建築・保存再生 | 難易度：標準

リートフェルト設計のシュレーダー邸について、最も適切な説明はどれか。
ア．ル・コルビュジエの五原則を示すため、ピロティと水平連続窓を中心に構成された作品である。
イ．直交する面や線、原色等を用いたデ・ステイルの造形原理を建築化した住宅である。
ウ．バロックの楕円ドームと曲面ファサードをもつ教会堂である。
エ．古代ローマの巨大ドーム建築である。

答え・解説

正答：イ

ア：五原則はル・コルビュジエの理論で、シュレーダー邸の説明としては不適切である。
イ：適切。内外の面が独立して交差するような抽象的構成をもつ。
ウ：住宅でありバロック教会堂ではない。
エ：20世紀オランダの近代住宅である。
総合解説：シュレーダー邸はデ・ステイルの抽象絵画的原理を三次元化した近代住宅であり、ル・コルビュジエの五原則とは区別する。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0087

1-3 建築史・保存再生 > 近現代建築・保存再生 | 難易度：標準

ヴァルター・グロピウス設計のデッサウのパウハウス校舎について、最も適切な説明はどれか。
ア．左右対称の古典主義ファサードだけで全機能を一体化した。
イ．木造の伝統的な大社造を採用した。
ウ．工房・教室・寮など異なる機能の棟を非対称に構成し、工房棟に大きなガラス面を用いた。
エ．外壁に開口を設けず、自然光を遮断した。

答え・解説

正答：ウ

ア：パウハウス校舎は非対称で機能別に棟を分節している。
イ：ドイツ近代建築であり、日本の神社形式ではない。
ウ：適切。機能の違いを形態に表し、近代的なガラスカーテンウォールを印象的に用いている。
エ：大きなガラス面が特徴である。
総合解説：パウハウス校舎は機能主義的な分節、非対称構成、ガラス面など、近代建築の表現を明確に示す。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0088

1-3 建築史・保存再生 > 近現代建築・保存再生 | 難易度：応用

ミース・ファン・デル・ローエのバルセロナ・パヴィリオンについて、最も適切な説明はどれか。
ア．厚い組積造耐力壁だけで全ての屋根荷重を支持し、内部を小室に分割する。
イ．ゴシックの飛梁と尖頭アーチで大聖堂を構成する。
ウ．草葺き屋根の伝統民家を移築した作品である。
エ．細い鉄骨柱で屋根を支持し、石やガラスの非耐力壁を自由に配置して内外が連続する空間をつくる。

答え・解説

正答：エ

ア：細い柱と自由な壁配置という特徴と異なる。
イ：近代の小規模パヴィリオンでありゴシック教会堂ではない。
ウ：近代建築の代表作であり伝統民家ではない。
エ：適切。構造支持と空間分節を分離し、流動的な空間を形成する。
総合解説：バルセロナ・パヴィリオンは、構造柱と非耐力壁を分離し、素材の面を自由に配置することで開放的な連続空間を実現した。
対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0089

1-3 建築史・保存再生 > 近現代建築・保存再生 | 難易度：基礎

歴史的建造物を新しい用途に活用する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．文化財的価値の所在を把握し、保存すべき部分と変更可能な部分を整理したうえで必要最小限の改修を行う。

イ．新用途に合わせるため、歴史的価値のある部材や空間も全て撤去する。

ウ．保存のため建物を一切使用せず、維持管理もしない。

エ．現代の安全性や利用者保護は文化財では考慮しなくてよい。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。価値を損なわずに安全性・利用性を確保することが保存活用の基本である。

イ：保存対象の本質的価値を失う可能性が高い。

ウ：継続的な活用や維持管理が保存につながる場合が多い。

エ：不特定多数が利用する場合など、安全性の確保は重要な前提である。

総合解説：保存再生では「何を残すべき価値とするか」を明確にし、現代利用のための改修と両立させる。近現代建築では継続利用そのものが保存に寄与することも多い。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0090

1-3 建築史・保存再生 > 近現代建築・保存再生 | 難易度：標準

登録有形文化財（建造物）の登録基準について、最も適切なものはどれか。

ア．建設後5年を経過した建物は、価値にかかわらず全て自動登録される。

イ．原則として建設後50年を経過し、歴史的景観への寄与、造形の規範、再現困難性のいずれかに該当するものが対象となる。

ウ．登録対象は木造建築に限定され、土木構造物は含まれない。

エ．登録されるためには国宝であることが必須である。

答え・解説

正答：イ

ア：原則50年経過に加え、一定の価値基準への該当が必要である。

イ：適切。文化庁の登録基準の骨格である。

ウ：建築物だけでなく、土木構造物やその他の工作物も対象となり得る。

エ：登録有形文化財は重要文化財等とは別の登録制度である。

総合解説：登録制度は、幅広い近代等の建造物を緩やかな保護措置で保存活用する仕組みであり、原則50年経過と価値基準への該当がポイントとなる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0091 1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：基礎

立地適正化計画による都市構造の誘導について、最も適切な説明はどれか。

ア．医療・福祉・商業等の都市機能を誘導する区域と、居住を誘導して人口密度の維持を図る区域を設定し、公共交通との連携も含めて都市構造を検討する。

イ．市街化調整区域を廃止し、都市計画区域の全域を市街化区域に変更する制度である。

ウ．都市機能の誘導区域だけを定め、居住の誘導や公共交通は計画対象としない。

エ．都市計画区域内の全ての住宅を中心市街地へ強制的に移転させる制度である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。コンパクト・プラス・ネットワークの考え方では、都市機能と居住の誘導、公共交通ネットワークを一体的に検討する。

イ：区域区分を一律に廃止する制度ではない。

ウ：居住誘導区域も重要な構成要素であり、交通施策との整合も重視される。

エ：強制移転を目的とする制度ではなく、届出・支援等を通じて緩やかな誘導を図る。

総合解説：立地適正化計画は、人口減少・高齢化等を踏まえて都市機能と居住を適切な区域へ誘導し、公共交通と連携した持続可能な都市構造を目指す制度である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0092 1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：基礎

都市計画における「区域区分（線引き）」の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．都市計画区域を景観計画区域と景観計画区域外に二分することである。

イ．無秩序な市街化を防止し計画的な市街化を図るため、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分することである。

ウ．市街地を居住誘導区域と都市機能誘導区域だけに二分することである。

エ．用途地域を住宅系・商業系・工業系の三つだけに区分することである。

答え・解説

正答：イ

ア：景観計画区域の指定とは別の制度である。

イ：適切。区域区分は市街化区域と市街化調整区域の区分をいう。

ウ：立地適正化計画の誘導区域とは別の制度である。

エ：用途地域の分類とは別の制度である。

総合解説：区域区分は都市の無秩序な拡大を抑え、計画的な市街化を進めるための基本的な都市計画手法である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0093

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：標準

既成市街地のある地区で、道路等の地区施設の配置や建築物の用途・壁面位置などを地区の実情に応じてきめ細かく定めたい。採用する制度として最も適切なものはどれか。

- ア．地区計画
- イ．高度利用地区
- ウ．特別緑地保全地区
- エ．立地適正化計画

答え・解説

正答：ア

ア：適切。地区計画は地区レベルで将来像を共有し、地区施設や建築物等に関するルールをきめ細かく定める手法である。

イ：高度利用地区は土地の合理的かつ健全な高度利用や都市機能更新を図る地域地区であり、設問の主眼とは異なる。

ウ：特別緑地保全地区は良好な自然的環境を保全する制度である。

エ：立地適正化計画は都市全体の居住・都市機能の誘導を主眼とする。

総合解説：都市計画制度は対象スケールと目的を区別して理解する。地区の詳細なルールづくりには地区計画が中心となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0094

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：標準

中心市街地の再編で「居心地が良く歩きたくなる」まちなかを形成する計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．車道の一部広場化、歩行者空間の拡充、公園・広場と沿道低層部の活用を一体的に行い、人の滞在と回遊を促す。
- イ．自動車交通を増やすため、歩道を縮小して全ての道路を多車線化する。
- ウ．民有地と公共空間の連携を避け、道路・公園・沿道建築を個別に計画する。
- エ．歩行者の滞在を避けるため、ベンチや広場を撤去して通過機能だけを高める。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。ウォーカブル施策では車中心から人中心へ転換し、道路・公園・広場・沿道空間の再編や利活用を一体的に進める。

イ：人中心の空間形成という目的に反する。

ウ：官民の空間を連続的に扱うことが重要であり、完全分離は適切でない。

エ：滞在快適性や交流を高める考え方に反する。

総合解説：ウォーカブルなまちづくりは、単に歩道幅を確保するだけでなく、滞在・交流・回遊を生む公共空間と沿道空間の質を高めることが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0095

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：基礎

C.A.ペリーの近隣住区理論の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．都市と田園の利点を併せ持つ自立都市を緑地帯で囲むことを中心概念とする。

イ．求心・放射型都市を否定して東京湾上へ線形の都市軸を伸ばすことを中心概念とする。

ウ．居住・労働・余暇・交通の四機能によって近代都市を整理することを中心概念とする。

エ．小学校等を近隣住区の中心的施設とし、通過交通を住区内部へ入りにくくするなど、徒歩生活圏を意識して住区を構成する。

答え・解説

正答：エ

ア：これはハワードの田園都市の説明に近い。

イ：これは東京計画1960に関連する説明である。

ウ：これはアテネ憲章に関連する説明である。

エ：適切。近隣住区理論は小学校を中心に、幹線道路で囲まれた徒歩圏の住区を構成する考え方である。

総合解説：代表的な都市計画思想は、提唱者・目的・空間構成をセットで区別する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0096

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：標準

一定規模以上の敷地で公開空地を確保し、市街地環境の改善に寄与する建築計画について、特定行政庁の許可を得て容積率等の制限の緩和を受けることを検討している。この制度として最も適切なものはどれか。

ア．特別緑地保全地区

イ．総合設計制度

ウ．防災集団移転促進事業

エ．景観協定

答え・解説

正答：イ

ア：特別緑地保全地区は緑地を保全する制度である。

イ：適切。総合設計制度は公開空地等を確保し、市街地環境の整備改善に資する計画について一定の形態規制を緩和する制度である。

ウ：防災集団移転促進事業は災害危険区域等からの集団移転を促進する制度である。

エ：景観協定は土地所有者等による良好な景観形成のための協定である。

総合解説：制度名だけでなく、目的が「公開空地等による市街地環境改善」と「形態規制の緩和」である点を押さえる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0097

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：標準

道路や公園などの公共施設が不足し、宅地が不整形な市街地を面的に整備したい。土地の権利関係を保ちながら、換地によって宅地を再配置し公共施設を整備する手法として最も適切なものはどれか。

- ア：市街地再開発事業
- イ：立地適正化計画
- ウ：景観計画
- エ：土地区画整理事業

答え・解説

正答：エ

ア：市街地再開発は敷地の統合、不燃共同建築物の整備、権利変換等により都市機能更新を図る事業であり主眼が異なる。

イ：立地適正化計画は誘導区域等を設定する計画制度である。

ウ：景観計画は良好な景観形成の規制・誘導を行う計画である。

エ：適切。土地区画整理は換地等により宅地を再配置し、道路・公園等の公共施設と宅地を一体的に整備する代表的な面的整備手法である。

総合解説：都市更新手法では、土地そのものの再配置を伴う土地区画整理と、建築物の共同化・高度利用を伴う市街地再開発を区別する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0098

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：応用

人口減少が進む地方都市で立地適正化計画を策定する。都市機能誘導区域に医療・商業施設を集約する一方、郊外居住者の日常生活も支える計画として最も適切なものはどれか。

- ア：居住や都市機能の誘導方針と、拠点へのアクセスを担う地域公共交通ネットワークの維持・再編を整合させる。
- イ：都市機能誘導区域と公共交通計画は相互に影響しないため、別々に策定する。
- ウ：都市機能を集約した後は公共交通を縮小し、自家用車だけにアクセスを委ねる。
- エ：全ての生活サービスを一つの中心拠点だけに集約し、生活拠点や交通結節点は設けない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。都市機能・居住の誘導と公共交通ネットワークは一体的に検討する必要がある。

イ：両計画の整合を図ることが重要である。

ウ：高齢者等を含む住民のアクセス確保が難しくなり、コンパクト・プラス・ネットワークの趣旨に反する。

エ：都市規模や地域特性に応じ、複数の拠点とネットワークを組み合わせる考え方が基本である。

総合解説：コンパクト化は単なる一極集中ではない。拠点への機能誘導と、それらを結ぶ持続可能な交通ネットワークの形成を組み合わせる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0099

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：応用

地域の土地所有者等が自主的なルールを定めて良好な景観を形成し、そのルールを土地の承継後も一定の実効性をもって維持したい。景観法に基づく制度として最も適切なものはどれか。

- ア．緑地協定
- イ．都市利便増進協定
- ウ．景観協定
- エ．建築協定

答え・解説

正答：ウ

ア：緑地協定は都市緑地法に基づき緑地の保全・緑化に関する事項を定める。

イ：都市利便増進協定は都市再生特別措置法に基づき、にぎわい・交流に寄与する施設の一体的な整備・管理等に関する制度である。

ウ：適切。景観協定は景観計画区域内で、土地所有者等が良好な景観形成に関する事項を自主的に定める協定である。

エ：建築協定は建築基準法に基づき建築物の基準等を定める。

総合解説：似た名称の協定制度は根拠法と主目的を整理する。景観協定は景観法、建築協定は建築基準法、緑地協定は都市緑地法に基づく。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0100

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：基礎

ジェイン・ジェイコブズが都市の街路の安全性について重視した考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア．街路の安全性は道路幅員だけで決まるため、沿道用途や人の活動は考慮しない。
- イ．住宅地の安全のため、街路に面する開口部や店舗をできるだけ減らして人の視線を遮断する。
- ウ．住民、通行人、店舗などから街路へ継続的に視線が向けられるよう、多様な活動と「街路の目」を確保する。
- エ．歩行者と地域活動を街路から排除し、通過交通だけに機能を限定する。

答え・解説

正答：ウ

ア：沿道の活動や視線など空間の使われ方を重視する。

イ：街路への自然な監視を弱めるため趣旨と逆である。

ウ：適切。多様な利用者の活動と自然な監視が街路の安全性に寄与するという考え方である。

エ：人の利用と滞在を排除する考え方ではない。

総合解説：「街路の目」は、防犯設備だけではなく、日常の多様な活動による自然な監視を都市空間に組み込む考え方である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0101

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：標準

駅前の細分化された敷地を統合し、不燃共同建築物と広場・道路等を整備して土地の合理的かつ健全な高度利用を図る事業として、最も適切なものはどれか。

- ア．特別緑地保全地区を指定する。
- イ．景観重要建造物を指定する。
- ウ．市街地再開発事業
- エ．土地区画整理事業だけを用いる。

答え・解説

正答：ウ

ア：特別緑地保全地区は緑地の保全制度である。

イ：景観重要建造物は既存の景観上重要な建造物を保全する制度である。

ウ：適切。市街地再開発事業は敷地の統合、不燃共同建築物の整備、公共施設の整備等により都市機能更新を図る。

エ：土地区画整理は換地を中心とする面的整備であり、共同建築物整備を主目的とする制度ではない。

総合解説：市街地再開発は、土地の高度利用と都市機能更新を建築物・公共施設の一体整備によって進める手法である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0102

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市計画・まちづくり | 難易度：標準

歴史的建造物の保存などにより未利用となる容積を、一定の地区内の別敷地で活用しながら、優れた都市空間の形成・保全を図る仕組みに関連する制度として最も適切なものはどれか。

- ア．特例容積率適用地区
- イ．地区計画のみ
- ウ．生産緑地地区
- エ．風致地区

答え・解説

正答：ア

ア：適切。特例容積率適用地区は、一定の区域内で容積の配分を柔軟に扱い、都市機能更新や優れた都市空間の形成・保全に活用される。

イ：地区計画は地区のルールを定めるが、設問の容積配分の制度そのものではない。

ウ：生産緑地地区は市街化区域内の農地等を計画的に保全する制度である。

エ：風致地区は都市の風致を維持する地域地区で、容積移転を目的とする制度ではない。

総合解説：制度の名称は似ていても、特例容積率適用地区は地区内での容積の柔軟な活用という特徴をもつ。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0103 1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：基礎

都市公園の種類と標準的な面積の組合せとして、最も適切なものはどれか。

ア．街区を最大、地区を最小とみなす規模配分：街区公園：4ha、近隣公園：2ha、地区公園：0.25ha

イ．近隣と地区の規模関係を入れ替えた配分：街区公園：0.25ha、近隣公園：4ha、地区公園：2ha

ウ．3種類を全体に大きく設定した配分：街区公園：2ha、近隣公園：4ha、地区公園：10ha

エ．街区・近隣・地区の標準的な段階構成に沿った配分：街区公園：0.25ha、近隣公園：2ha、地区公園：4ha

答え・解説

正答：エ

ア：規模の大小関係が逆である。

イ：近隣公園と地区公園の標準規模が逆である。

ウ：各公園種別の標準規模が過大である。

エ：適切。国土交通省が示す標準では街区公園0.25ha、近隣公園2ha、地区公園4haである。

総合解説：住区基幹公園は利用圏域に応じて街区・近隣・地区の順に標準規模が大きくなる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0104 1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：基礎

総合公園の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．災害時の避難路としてのみ用いる線状の緑地で、10～20mの幅員だけを基準とする。

イ．主として近隣居住者だけの利用を目的とし、2haを基準とする。

ウ．主として街区内居住者だけの利用を目的とし、0.25haを基準とする。

エ．都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等の総合的な利用に供することを目的とし、都市規模に応じて10～50ha程度を基準とする。

答え・解説

正答：エ

ア：緑道の説明に近く、総合公園ではない。

イ：近隣公園の説明である。

ウ：街区公園の説明である。

エ：適切。総合公園は都市住民全般を対象とする都市基幹公園である。

総合解説：公園種別は対象利用者と機能で整理する。総合公園は都市住民全般の多目的利用を担う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0105

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：標準

住宅地の公園・緑地計画で、歩行者・自転車の安全で快適な移動と、災害時の避難路の確保を兼ねて近隣住区間を結ぶ線状空間を整備する。最も適切なものはどれか。

- ア．地区公園を一点だけ整備し、住区間の連続性は設けない。
- イ．自動車専用道路として整備し、歩行者の横断を禁止する。
- ウ．建築物の裏側に細い管理通路だけを設け、避難経路としては考えない。
- エ．植樹帯と歩行者路等を主体とする緑道として連続させる。

答え・解説

正答：エ

ア：点的な公園だけでは設問の連続的な移動・避難機能を満たしにくい。
イ：歩行者等の利用と緑地機能に反する。
ウ：避難や日常利用を考えない管理通路は緑道の目的と異なる。
エ：適切。緑道は近隣住区等を連絡し、安全性・快適性や避難路の確保等に資する線状の緑地である。
総合解説：緑道は、日常の歩行・自転車ネットワークと防災上の避難経路を兼ねることができる外部空間である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0106

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：基礎

景観法に基づく景観計画に定める事項の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア．景観計画区域、良好な景観形成のための行為の制限、景観重要建造物・景観重要樹木の指定方針などを定めることができる。
- イ．都市計画区域内の容積率を全国一律の数値に変更する。
- ウ．建築物の耐震診断方法だけを定め、外観や公共施設は対象としない。
- エ．景観計画区域では既存建築物を全て同一意匠へ改修することを義務付ける。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。景観計画は区域、景観形成方針や行為制限、重要建造物等の指定方針などを通じて規制・誘導を行う。
イ：容積率を全国一律に設定する制度ではない。
ウ：景観形成を対象とする制度であり耐震診断だけの計画ではない。
エ：地域特性を活かした規制・誘導であり、全建築物を同一意匠にする制度ではない。
総合解説：景観計画は、地域の特徴を踏まえて良好な景観を保全・創出するための基本的な法定計画である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0107

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：標準

景観計画区域内にある、地域の景観形成上重要な既存建築物を積極的に保全したい。景観行政団体の長が景観計画の指定方針に即して指定する制度として最も適切なものはどれか。

- ア．街区公園
- イ．都市機能誘導施設
- ウ．景観重要建造物
- エ．生産緑地

答え・解説

正答：ウ

ア：街区公園は都市公園の種別である。

イ：都市機能誘導施設は立地適正化計画に関連する都市機能である。

ウ：適切。景観重要建造物は景観計画区域内で良好な景観形成に重要な建造物を指定し、現状変更の許可等によって保全を図る制度である。

エ：生産緑地は市街化区域内の農地等の保全に関する制度である。

総合解説：景観重要建造物は文化財指定とは別の景観法上の制度で、地域景観の核となる建造物の維持・保全に用いられる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0108

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：標準

都市内に残る樹林地が、無秩序な市街化の防止や災害時の緩衝空間、歴史的・文化的環境の形成に重要である。建築行為等を制限し、良好な自然的環境を現状凍結的に保全する制度として最も適切なものはどれか。

- ア．都市機能誘導区域
- イ．特別緑地保全地区
- ウ．総合設計制度
- エ．高度利用地区

答え・解説

正答：イ

ア：都市機能誘導区域は医療・福祉・商業等の都市機能の立地誘導を図る区域である。

イ：適切。特別緑地保全地区は良好な自然的環境を有する緑地を、一定の行為制限により保全する制度である。

ウ：総合設計制度は公開空地等と引換えに形態規制の特例を認める制度である。

エ：高度利用地区は土地の合理的高度利用と都市機能更新を目的とする。

総合解説：都市の緑地保全制度では「保全」と「緑化促進」を区別する。特別緑地保全地区は現状の良好な緑地を強く保全する制度である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0109

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：標準

文化施設の前庭から主玄関までの外部空間で、来訪者に進行方向を分かりやすく示し、建築物への期待感を高めたい。計画として最も適切なものはどれか。

- ア．広場の中心に設備ヤードを配置し、来訪者の滞在場所と搬出入場所を重ねる。
- イ．歩行者動線とサービス車両動線を同一の狭い通路に集約し、交錯を増やす。
- ウ．主玄関を植栽で完全に隠し、経路ごとに舗装材や照明のルールを無関係に変える。
- エ．主玄関や象徴的な要素をアイストップとして視軸上に配置し、舗装・植栽・照明の連続性でアプローチを誘導する。

答え・解説

正答：エ

ア：公共的な滞在空間とサービス動線を重ねるのは適切でない。

イ：安全性と快適性の面で不利である。

ウ：目的地の認知性と空間の連続性を損なう。

エ：適切。視軸・アイストップと舗装や植栽の連続性は方向認知と空間体験を高める。

総合解説：外部空間は、単なる余白ではなく、視線・動線・滞在・植栽・照明を組み合わせることで建築と都市をつなぐ計画対象である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0110

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：標準

歴史的な商店街で、建築物の高さ・色彩・外壁位置を誘導しつつ、地域の象徴的な既存建築物も保全したい。景観法を活用する方針として最も適切なものはどれか。

- ア．景観重要建造物に指定すれば、周辺区域の建築物には自動的に同一の外観が義務付けられる。
- イ．全ての既存建築物を文化財に指定しなければ景観形成の規制はできない。
- ウ．景観計画では建築物の外観に関する誘導はできないため、道路幅員だけを変更する。
- エ．景観計画で区域と行為制限等を定め、必要に応じて重要な既存建築物を景観重要建造物として指定する。

答え・解説

正答：エ

ア：重要建造物の指定は周辺全建築物を自動的に同一意匠にする制度ではない。

イ：景観法には文化財指定とは別の景観形成手法がある。

ウ：景観計画では建築物・工作物等の行為の制限を定められる。

エ：適切。景観計画による区域的な規制・誘導と、景観重要建造物の個別保全を組み合わせることができる。

総合解説：景観形成は区域全体のルールと重要資源の個別保全を組み合わせることで実効性を高められる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0111

1-4 都市・地域・環境計画 > 都市公園・外部空間・景観 | 難易度：応用

駅前再整備で、駅前広場、公園、歩道、沿道店舗のオープンスペースが個別に存在しているが、人の滞在や回遊が少ない。改善案として最も適切なものはどれか。

ア．各空間の境界に高い柵を設け、相互の行き来をできるだけ減らす。

イ．沿道店舗の1階を閉鎖的な壁面とし、歩道から内部活動が見えないようにする。

ウ．広場のベンチや日陰を撤去し、立ち止まらず通過することだけを促す。

エ．舗装・植栽・ベンチ等の設えと動線を連続させ、公共空間と沿道の民有地を一体的に使える滞在空間として再編する。

答え・解説

正答：エ

ア：空間の連続性と回遊性を低下させる。

イ：沿道低層部の開放性を高める方向と逆である。

ウ：滞在快適性を低下させる。

エ：適切。連続した歩行・滞在空間と沿道の開放性はウォーカブルなまちなか形成に寄与する。

総合解説：公園・広場・街路・沿道建築は別々に計画するのではなく、人の移動と滞在の連続性を軸に統合することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0112

1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：標準

洪水・土砂災害・地震火災など複数の災害リスクがある市街地で防災都市づくり計画を見直す。最も適切な進め方はどれか。

ア．災害種別ごとのリスクは考慮せず、道路幅員だけを一律に拡大する。

イ．都市整備部局だけで完結させ、防災・福祉・地域組織等との連携を行わない。

ウ．災害リスクを都市・地区レベルで把握し、土地利用、避難、道路・公園等の整備、地域の自助・共助との連携を総合的に検討する。

エ．公的な災害リスク情報は住民に示さず、行政内部だけで利用する。

答え・解説

正答：ウ

ア：災害種別と地域特性に応じた評価が必要である。

イ：関係部局や地域の取組との連携が必要である。

ウ：適切。複数災害のリスク評価と、都市・地区の課題、具体的施策、地域との連携を総合的に扱うことが重要である。

エ：リスク情報の分かりやすい公表・共有も重要である。

総合解説：防災都市づくりは単一施設の強化だけではなく、災害リスク情報に基づいて土地利用・都市施設・避難・地域連携を組み合わせる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0113 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：基礎

フェーズフリーの考え方を建築・地域計画へ取り入れる例として、最も適切なものはどれか。

ア．平常時の使いやすさと災害時の機能は必ず対立するため、どちらか一方だけを選ぶ。

イ．災害時専用の設備は日常時に一切利用できないよう閉鎖し、地域住民も存在を知らない計画とする。

ウ．平常時は交流広場として利用し、災害時には一時的な避難・支援活動にも活用できるよう、電源や給水等を備えた外部空間を計画する。

エ．防災設備を設ければ、避難動線や地域運用の検討は不要とする。

答え・解説

正答：ウ

ア：両方の価値を高める設計を目指す考え方である。

イ：日常利用との連続性を重視する考え方に反する。

ウ：適切。フェーズフリーは日常と非常時を分断せず、普段使うものや空間が非常時にも役立つようにする考え方である。

エ：ハードだけでなく動線・運用も含めて計画する必要がある。

総合解説：フェーズフリーは防災専用品を増やすことではなく、日常の価値と災害時の価値を同じ空間・仕組みに重ねる発想である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0114 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：標準

都市の緑地を環境配慮と防災の両面から計画する考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．緑地は景観だけに関係するため、防災機能は考慮しない。

イ．樹木は維持管理が必要なので、都市内の緑地は全て舗装へ置き換える。

ウ．日射遮蔽や蒸散による暑熱環境の緩和に加え、延焼遮断や避難・滞在空間としての役割も考慮してネットワーク化する。

エ．公園を点在させればよく、歩行者動線や避難路との連続性は考慮しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：都市緑地には防災上の役割もある。

イ：維持管理を考慮しつつ適切に緑地を計画することが重要である。

ウ：適切。緑地は温熱環境、景観、生態系、防災、避難等の複数機能を担いうる。

エ：連続的な緑・歩行ネットワークは日常と災害時の双方で有効である。

総合解説：都市の緑は単機能ではなく、環境・景観・防災・歩行ネットワークを重ねて計画することで価値が高められる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0115 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：応用

地域の防災拠点となる公共施設を計画する。大規模災害後も拠点機能をできるだけ継続させるための方針として、最も適切なものはどれか。

- ア．設備は全て一系統に集約し、故障時の代替手段を設けない。
- イ．平常時の最短アクセスだけを優先し、浸水・土砂災害等のリスクは考慮しない。
- ウ．災害時には周辺道路が必ず使用できる前提とし、代替アクセスは計画しない。
- エ．災害リスクの低い配置を検討し、複数のアクセス経路、非常用電源・給水、通信手段等を冗長化して、機能停止の一点集中を避ける。

答え・解説

正答：エ

- ア：単一系統への依存は障害時の機能喪失につながる。
- イ：防災拠点は立地段階から災害リスクを考慮する必要がある。
- ウ：道路閉塞等を想定し複数経路を検討することが望ましい。
- エ：適切。防災拠点では立地リスクの評価と、アクセス・電源・給水・通信等の冗長性が機能継続に重要である。

総合解説：レジリエンスを高めるには、構造安全だけでなく、災害後に必要な機能を維持・復旧できる計画が必要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0116 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：標準

地域の気候特性を活かした建築・街区計画として、最も適切なものはどれか。

- ア．卓越風、日射、周辺建築物や地形を把握し、自然通風、日射遮蔽、昼光利用等を組み合わせて機械設備への負荷を低減する。
- イ．自然エネルギーを利用する場合も、周辺建築物による日陰や風の遮蔽は考慮しない。
- ウ．地域の風向や日射条件は設計に影響しないため、全国一律の開口配置とする。
- エ．パッシブデザインは太陽光発電設備を設置することだけを意味する。

答え・解説

正答：ア

- ア：適切。パッシブデザインでは地域・敷地条件に応じ、建築的工夫によって自然エネルギーを有効利用する。
- イ：周辺環境は日射・風環境を大きく左右する。
- ウ：気候・敷地条件の把握が重要である。
- エ：設備だけでなく配置・形状・開口・外皮等の建築的工夫を含む。

総合解説：環境配慮は設備追加だけでなく、地域の気候資源を読み取り、配置や形状など初期計画に反映することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0117 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：標準

集中豪雨時の雨水流出を抑えながら、平常時の外部空間の快適性も高めたい。計画として最も適切なものはどれか。

- ア．植栽地を全て縁石で高く囲み、雨水が一切流入しないようにする。
- イ．敷地全体を不透水舗装とし、降雨をできるだけ短時間で下流へ排水する。
- ウ．雨水流出の検討は建築物内部だけの問題なので、外構計画では扱わない。
- エ．透水性の高い舗装や植栽地、雨水を一時貯留できる空間を組み合わせ、敷地内で雨水をため・しみ込ませる時間を確保する。

答え・解説

正答：エ

ア：植栽地を雨水管理に活用できなくなる。
イ：下流へのピーク流出を増加させるおそれがある。
ウ：外部空間や敷地の舗装・植栽は雨水流出に直接関係する。
エ：適切。雨水の浸透・貯留を外構と一体化することは、流出抑制と環境質の向上に寄与する。
総合解説：気候変動への適応では、建築単体だけでなく敷地・街区レベルで雨水を扱う考え方が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0118 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：応用

大規模な地域施設と公園を一体整備する際、日常の歩行ネットワークを災害時の避難にも活用したい。計画として最も適切なものはどれか。

- ア．日常動線とは別に、通常は施錠され利用者が位置を知らない一本の避難路だけを設ける。
- イ．避難経路をサービス車両の待機場所と完全に重ね、災害時にも車両優先とする。
- ウ．日常的に使われる歩行経路を複数方向へ連続させ、狭窄部や車両との危険な交錯を減らし、避難先となるオープンスペースへ接続する。
- エ．公園への経路は景観上目立たないよう袋小路とし、方向選択をできなくする。

答え・解説

正答：ウ

ア：非常時だけ存在する認知されにくい経路は利用性が低い。
イ：歩行避難と車両動線の危険な交錯を避ける必要がある。
ウ：適切。普段から認知される複数経路を避難にも活用し、安全なオープンスペースへ接続する計画は有効である。
エ：袋小路は避難時の選択肢を減らす。
総合解説：防災計画は「非常時だけの空間」ではなく、日常利用の中で経路や場所が認知されるよう計画することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0119 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：応用

人口減少と災害リスクの双方に対応する地域拠点を再編する。最も総合的な計画方針はどれか。
ア．災害対策と日常のまちづくりを完全に分離し、利用されない防災施設を郊外に単独整備する。
イ．地域公共交通や歩行環境を考慮せず、駐車場容量だけを拠点配置の基準とする。
ウ．既存ストックの活用可能性を検討せず、全て新築で対応する。
エ．公共交通で到達しやすい拠点へ日常サービスを誘導し、既存公共施設や公園を活用して、平常時の交流と災害時の支援機能を重ねる。

答え・解説

正答：エ

ア：平常利用と災害時利用を重ねる方が施設の認知・運用・投資効率を高めやすい。
イ：多様な移動手段を考慮する必要がある。
ウ：既存ストックの再利用は資源循環や地域継承の観点から重要である。
エ：適切。持続可能性と防災性を高めるには、拠点・交通・既存ストック・公共空間を複合的に活用することが有効である。

総合解説：地域計画では、環境負荷低減、防災、交通、公共施設再編、地域活動を別々に扱わず、相互の効果を重ねる視点が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0120 1-4 都市・地域・環境計画 > 環境配慮・防災・地域計画 | 難易度：基礎

地域施設の環境配慮計画で、初期導入時の効果だけでなく長期的な持続性を確保する考え方として、最も適切なものはどれか。
ア．省エネルギー効果に加え、維持管理の容易さ、更新可能性、使用段階や解体までの環境負荷も考慮して計画する。
イ．導入時の機器効率だけを比較し、保守や更新は完成後に初めて検討する。
ウ．初期建設時の環境負荷だけを評価し、運用・改修・解体は評価対象から外す。
エ．環境配慮設備は導入すれば性能が永久に維持されるため、保全計画は不要である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。環境配慮は建設時だけでなく、使用・維持保全・更新・解体までのライフサイクルで考える必要がある。
イ：維持管理・更新を初期段階から考慮することが重要である。
ウ：ライフサイクル評価では各段階の環境負荷を扱う。
エ：性能維持には適切な保全が必要である。

総合解説：長年に使用される建築物では、導入時の性能だけでなく、維持保全とライフサイクル全体の環境負荷を評価する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0121 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：基礎

建築プロジェクトの設計プロセスについて、最も適切な説明はどれか。

ア．実施設計を完了した後で初めて敷地条件や発注者の要求を確認する。

イ．企画・基本計画で要求条件を整理し、基本設計で空間・性能・概算等の骨格をまとめ、実施設計で施工に必要な図書へ具体化していく。

ウ．基本設計では工事契約後の施工方法だけを決め、建築の性能や配置は扱わない。

エ．企画段階では事業目的や予算を扱わず、仕上げ材料の品番だけを確定する。

答え・解説

正答：イ

ア：要求条件や敷地条件は初期段階から確認する必要がある。

イ：適切。設計は要求条件から具体的な設計図書へ段階的に詳細化する。

ウ：基本設計は配置・平面・断面・性能・概算等の骨格を検討する。

エ：企画段階では事業目的、要求、予算、スケジュール等を整理する。

総合解説：後工程ほど変更コストが大きくなるため、重要な要求条件は初期段階で整理し、段階ごとに合意を形成することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0122 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：基礎

公共建築の設計者選定におけるプロポーザル方式の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．設計料が最も低い者を、技術提案を評価せず自動的に選定する。

イ．完成した建築物の設計案だけを競い、業務遂行能力は評価しない。

ウ．設計料の安さだけでなく、創造性、技術力、経験、業務実施方針等を評価し、その業務に適した設計者を選定する。

エ．施工会社の資本金だけで設計者を選定する。

答え・解説

正答：ウ

ア：プロポーザル方式は価格だけの競争ではない。

イ：設計競技とは異なり、業務遂行方針や能力等を評価する。

ウ：適切。公共建築の設計者選定では、価格のみでなく技術力や創造性等を適切に評価することが重要である。

エ：設計者選定の評価軸として不適切である。

総合解説：プロポーザル方式は「設計案そのもの」だけを競う設計競技とは異なり、設計業務を遂行する者の技術提案・能力等を評価する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0123 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：標準

設計者側の工事監理者と施工者側の施工管理者の役割について、最も適切なものはどれか。

ア．工事監理は工事が設計図書どおり実施されているかを確認する立場であり、施工管理は施工者が品質・工程・安全等を管理して工事を実施する立場である。

イ．工事監理者が施工者の現場作業員へ直接作業指示を出し、施工者の安全管理責任も全面的に負う。

ウ．工事監理と施工管理は名称が異なるだけで、契約上も実務上も全く同一の役割である。

エ．施工管理者は発注者の代理人として設計者の成果品を審査するだけで、施工計画には関与しない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。工事監理は設計図書との照合・確認等、施工管理は施工者による工事实施の管理であり立場が異なる。

イ：施工者の指揮命令系統と監理者の確認業務は区別される。

ウ：両者は主体・責任・業務内容が異なる。

エ：施工管理者は施工計画、品質、工程、安全等を管理する。

総合解説：一級建築士試験では「監理」と「管理」の区別が重要である。誰が、どの契約関係で、何を確認・実施するかを整理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0124 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：標準

設計業務の開始時、発注者が設計者へ提供すべき情報の扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア．敷地条件、要求機能、予算、既存資料など設計に必要な情報を整理し、必要に応じて速やかに提供して、条件変更も共有する。

イ．予算条件は工事契約時まで設計者に知らせず、設計内容との整合を確認しない。

ウ．発注者の要求条件は設計者の創造性を妨げるため、設計完了まで伝えない。

エ．既存図面や地盤情報は設計者が全て独自に推測すべきで、発注者は保有資料を提供しない。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。設計業務の前提条件は発注者と設計者で共有し、変更があれば適時更新する必要がある。

イ：予算は設計条件の重要な一部で、初期からコスト管理に用いる。

ウ：要求条件を共有しなければ成果物が目的と乖離する。

エ：保有する必要情報を共有することが合理的である。

総合解説：設計の品質は設計者だけで決まらない。発注者が目的・要求・制約条件を明確化し、適切に情報提供することが不可欠である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0125

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：標準

基本設計承認後に発注者から大幅な用途変更の要望が出た。プロジェクト管理として最も適切な対応はどれか。

- ア．変更内容が面積、法規、構造、設備、工事費、工程等へ与える影響を整理し、関係者で合意したうえで設計条件と記録を更新する。
- イ．一度承認した基本設計はどのような条件変更があっても変更してはならない。
- ウ．口頭で変更を受け入れ、図面や議事録には残さず各担当者の記憶に任せる。
- エ．工程への影響を避けるため、他分野との整合確認をせず意匠図だけを変更する。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。変更は各分野・コスト・工程への波及を評価し、合意と記録を伴って管理する。

イ：正当な条件変更に応じて設計を見直す必要がある。

ウ：伝達漏れや責任範囲の不明確化につながる。

エ：構造・設備・法規等との不整合を生むおそれがある。

総合解説：設計変更では「変更そのもの」より、影響範囲の把握、意思決定、文書化、設計図書への反映が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0126

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：標準

設計と施工を一体的に一つの主体へ発注し、施工者の技術やノウハウを設計段階から活用するプロジェクト実施方式として、最も適切なものはどれか。

- ア．オープンブック方式
- イ．デザインビルド方式
- ウ．設計施工分離方式
- エ．プロポーザル方式

答え・解説

正答：イ

ア：オープンブックはコスト情報の開示・監査に関する方式で、設計施工一括の意味ではない。

イ：適切。デザインビルドは設計と施工を一括して発注する方式である。

ウ：設計施工分離方式は設計と施工を別主体へ発注する。

エ：プロポーザルは主に技術提案等による選定手法である。

総合解説：発注方式は、設計と施工の責任分担、技術提案の反映時期、価格確定時期などが異なるため、名称と特徴を対応させる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0127

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：応用

発注者側で構造形式や主要諸元、構造一般図等を確定したうえで、施工に必要な詳細設計と施工を一括して発注する方式として、最も適切なものはどれか。

- ア．オープンブック方式
- イ．詳細設計付工事発注方式
- ウ．設計施工分離方式
- エ．純粋な設計競技

答え・解説

正答：イ

ア：コスト情報の開示方式とは目的が異なる。

イ：適切。詳細設計付工事発注方式は、発注者側で基本的な構造等を確定し、施工に必要な詳細設計を工事と一括発注する。

ウ：設計と施工を別々に発注する方式とは異なる。

エ：設計者選定の競技方式ではない。

総合解説：一括発注でも、どこまで発注者側で設計を確定してから施工者へ引き渡すかにより方式が異なる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0128

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：標準

公共施設の設計で、基本設計案が予算を大きく超過していることが判明した。最も適切な対応はどれか。

- ア．予算との差を隠すため、概算工事費を根拠なく小さく記載する。
- イ．主要構成要素ごとのコスト配分を確認し、要求性能・面積・仕様等の優先順位を発注者と共有して、早期に代替案を比較する。
- ウ．全ての仕様を一律に最低性能へ落とし、施設の要求性能は再確認しない。
- エ．実施設計完了まで超過を放置し、工事入札の段階で初めて減額する。

答え・解説

正答：イ

ア：コスト情報は客観的根拠に基づく必要がある。

イ：適切。設計初期からコストを把握し、要求性能と予算のバランスを調整することが有効である。

ウ：必要機能を整理し、優先度に応じて合理的に検討するべきである。

エ：後工程ほど変更の影響・コストが大きくなる。

総合解説：コスト管理は単なる「削減」ではなく、要求性能と予算を対応させ、設計の進行に応じて概算を更新しながら意思決定するプロセスである。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0129

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：基礎

設計・施工・維持管理にまたがる建築情報の活用について、最も適切な考え方はどれか。

ア．3次元モデルを作成すれば契約条件や承認手順は不要になる。

イ．同一の建築情報を関係者間で共有し、図面間の整合確認や数量・性能情報の連携を図ることで、意思決定と情報伝達の質を高める。

ウ．担当分野ごとに情報を完全に分断し、他分野と整合しないことを前提に作業する。

エ．BIMは完成後の外観CG作成だけに用いるもので、設計調整や情報管理には使わない。

答え・解説

正答：イ

ア：ツール導入によって契約や承認プロセスが不要になるわけではない。

イ：適切。BIM等の活用目的の一つは関係者の情報連携と設計・施工の整合性向上である。

ウ：分野間調整を難しくする。

エ：BIMは情報を伴うモデルとして設計・施工等の多段階で活用できる。

総合解説：デジタルツールは目的ではなく、正確な情報共有・整合確認・意思決定を支援する手段として活用する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0130

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 企画・設計・監理・契約 | 難易度：標準

設計業務委託で、追加業務の発生をめぐる認識の食い違いを減らすために最も有効な対応はどれか。

ア．成果物の種類や提出時期は契約に定めず、最終日に口頭で決める。

イ．業務範囲は曖昧なままとし、追加作業が生じた場合は全て無償とする。

ウ．契約時に業務範囲、成果物、前提条件、発注者が提供する資料等を明確にし、変更時には合意内容を文書化する。

エ．設計条件が変更されても契約・工程・報酬への影響を一切確認しない。

答え・解説

正答：ウ

ア：成果物・時期は事前に共有すべき重要条件である。

イ：業務範囲の不明確さはトラブルの原因となる。

ウ：適切。契約条件と業務範囲を明確化し、変更を記録することが紛争予防と品質確保に重要である。

エ：条件変更の影響を確認し、必要な契約変更を行うべきである。

総合解説：設計・監理業務では、技術内容だけでなく、誰が何をいつまでに行うかを契約図書で明確にすることがプロジェクト管理の基礎となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0131

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：基礎

ISO9000シリーズに関する説明として、最も適切なものはどれか。

ア．建築物の構造計算方法だけを規定する国内法規である。

イ．製品の寸法や性能そのものを一律に定める規格ではなく、組織が品質を管理・保証するためのマネジメントシステムに関する規格群である。

ウ．完成品の品質が必ず最高水準になることを認証する製品規格である。

エ．工事費の内訳書式だけを定める積算基準である。

答え・解説

正答：イ

ア：構造計算法だけを対象とするものではない。

イ：適切。ISO9000シリーズは品質マネジメントの仕組みに関する規格群である。

ウ：認証は品質マネジメントシステムの適合性に関するもので、個々の製品の最高性能を保証するものではない。

エ：積算基準ではない。

総合解説：品質マネジメントは、責任・手順・記録・改善など組織の仕組みを整えて、安定した品質を実現する考え方である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0132

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：基礎

VE (Value Engineering) の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．必要な機能を明確にし、その機能をより適切なコストで達成する代替案を検討して価値の向上を図る。

イ．設計が完了し変更が難しくなってからだけ実施することを原則とする。

ウ．初期工事費を下げるため、必要機能も一律に削除する。

エ．外観デザインを変更せず、材料価格の値引き交渉だけを行う手法である。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。VEは機能とコストの関係を分析し、必要機能を満たしながら価値向上を図る。

イ：一般に変更自由度の高い初期段階ほど有効な代替案を検討しやすい。

ウ：必要機能を損なえば価値向上とはいえない。

エ：単なる値引きではなく、機能を軸に代替案を創出する。

総合解説：VEでは「安くすること」だけが目的ではなく、必要な機能を保ちながら、コストとの比で価値を高めることが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0133

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：基礎

建築物LCA（Life Cycle Assessment）の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．建築物の資産価値だけを将来予測する経済評価手法である。

イ．資材の製造、建設、使用、改修・維持保全、解体等を含むライフサイクル全体の環境負荷を定量的に評価する。

ウ．建設時の工事費だけを評価し、使用段階や解体は対象としない。

エ．完成後の室内温度だけを測定して環境性能を判定する。

答え・解説

正答：イ

ア：環境負荷評価であり、資産価値だけの経済評価ではない。

イ：適切。LCAはライフサイクル全体の環境負荷を評価する手法である。

ウ：LCAの評価範囲は建設時だけに限られない。

エ：室内温度は環境評価の一要素になり得るがLCAそのものではない。

総合解説：近年は建築物のライフサイクルカーボン削減が重視され、資材製造から解体までのCO2排出量等を把握する取組が進められている。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0134

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：標準

二つの設備改修案をLCC（Life Cycle Cost）の観点で比較する場合、最も適切な評価方法はどれか。

ア．建築物の環境負荷だけを評価し、費用は一切扱わない。

イ．購入時のメーカー希望小売価格だけで優劣を決める。

ウ．初期工事費だけを比較し、将来の維持管理費や更新費は同じと仮定して除外する。

エ．初期費用だけでなく、運転、点検・保守、修繕、更新、廃棄等に要する費用を使用期間全体で比較する。

答え・解説

正答：エ

ア：環境負荷だけの評価はLCAに近い。

イ：実際の保全・運用費を含む総費用で判断する必要がある。

ウ：長期使用では運転・保全・更新費が大きくなるため初期費用だけでは適切に比較できない。

エ：適切。LCCはライフサイクルにわたる費用を総合的に評価する考え方である。

総合解説：LCAは環境負荷、LCCは費用という評価軸が中心である。両者を併用すると環境性と経済性を長期視点で比較できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0135

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：標準

建築のサプライチェーンマネジメントに関する説明として、最も適切なものはどれか。

ア．現場内の作業員の勤務表だけを最適化する手法である。

イ．完成後の建築物の清掃頻度だけを定める手法である。

ウ．設計者が材料メーカーの情報を遮断し、各工程を独立させる手法である。

エ．資材・部材の調達、製造、物流、施工、使用、回収・再利用等にわたる物や情報の流れを全体最適の視点で合理化する。

答え・解説

正答：エ

ア：対象範囲が限定されすぎている。

イ：維持管理の一項目だけを指すものではない。

ウ：分断ではなく連携・全体最適が目的である。

エ：適切。サプライチェーン全体の物・情報等の流れを統合的に管理する考え方である。

総合解説：建築生産では設計・調達・製造・物流・施工を横断して情報を共有し、在庫・リードタイム・品質等を最適化する視点が重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0136

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：標準

PPP（Public Private Partnership）の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．公共施設は行政だけが整備・運営し、民間参画を禁止する考え方である。

イ．設計業務の著作権だけを民間へ譲渡する契約方式である。

ウ．公共サービスや施設整備等に民間が参画し、民間の資金・技術・創意工夫等を活用して効率化やサービス品質の向上を図る幅広い官民連携の概念である。

エ．施工者が工事費内訳を開示することだけを指す方式である。

答え・解説

正答：ウ

ア：PPPの趣旨と逆である。

イ：著作権だけの制度ではない。

ウ：適切。PPPは公共と民間の連携を幅広く捉えた概念である。

エ：これはオープンブック方式に近い説明である。

総合解説：PPPは特定の一方式だけでなく、公共サービスに民間の能力や資源を活用する官民連携を広く含む概念として理解する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0137

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：標準

建設プロジェクトで、施工者が発注者に原価等のコスト情報を開示し、支払額と対価の妥当性を発注者または第三者が確認する方式として、最も適切なものはどれか。

- ア．オープンブック方式
- イ．総合設計制度
- ウ．デザインビルド方式
- エ．土地区画整理事業

答え・解説

正答：ア

ア：適切。オープンブック方式はコスト情報の透明性を高め、内容を監査・確認できるようにする。

イ：建築規制の特例制度である。

ウ：設計施工一括発注の方式であり、コスト開示そのものを意味しない。

エ：市街地整備の事業手法である。

総合解説：プロジェクト方式の名称は目的で区別する。オープンブックはコスト透明性、デザインビルドは設計施工一括が中心である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0138

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：応用

建築物の資源循環性を高める設計・生産方針として、最も適切なものはどれか。

- ア．将来の用途変更や部材交換を想定して、構造躯体と内装・設備を分離し、解体・交換しやすい接合や再利用可能な部材を検討する。
- イ．更新頻度の異なる設備と構造躯体を一体化し、交換時には全てを破壊する構成とする。
- ウ．資源循環は廃棄段階だけの問題なので、設計・調達段階では考慮しない。
- エ．部材の再利用可能性は検討せず、短期間で全建替えすることを前提とする。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。長寿命化、可変性、分解容易性、再利用可能性を初期設計で考慮することは資源循環に寄与する。

イ：更新時の廃棄量と改修負担を増やす。

ウ：設計・材料選定・調達の段階から循環性を考えることが重要である。

エ：既存ストック活用や部材再利用の可能性を狭める。

総合解説：サーキュラーエコノミーの視点では、資材を使い捨てるのではなく、建築物や部材の寿命を延ばし、再利用・再資源化しやすい仕組みを設計段階から組み込む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0139

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：応用

同じ種類の施工不具合が複数現場で繰り返されている。品質マネジメント上、最も適切な対応はどれか。

- ア．問題が起きた現場の担当者だけの責任として、組織の手順や教育は見直さない。
- イ．原因を分析し、施工手順・検査方法・教育等を見直して標準化し、その効果を次の現場で検証して継続的に改善する。
- ウ．不具合箇所だけをその都度補修し、原因や手順は記録しない。
- エ．検査記録を減らせば不具合件数が少なく見えるので、記録を廃止する。

答え・解説

正答：イ

ア：組織的な原因がある場合、仕組みの改善が必要である。
イ：適切。原因分析、是正、標準化、効果確認を繰り返すことが品質の継続的改善につながる。
ウ：再発防止につながらない。
エ：記録は品質管理の重要な証拠であり、廃止は逆効果である。
総合解説：品質管理では個別不具合の修正だけでなく、原因を組織の仕組みに反映し、PDCAを回して再発を防止する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0140

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築生産・品質・VE・LCA・LCC | 難易度：応用

外装材Aは初期費用が低い短周期で交換が必要で、外装材Bは初期費用が高いが長寿命で交換回数が少ない。環境性と経済性を長期的に比較する方法として最も適切なものはどれか。

- ア．LCAで製造・交換・廃棄等の環境負荷を、LCCで初期・維持・更新等の費用を評価し、同一の想定使用期間で比較する。
- イ．LCAとLCCは同じ指標なので、どちらか一方を行えば環境性と経済性の両方が自動的に評価される。
- ウ．初期費用だけでAを選び、交換回数は評価しない。
- エ．製造時のCO2だけで選び、維持・交換・廃棄は対象外とする。

答え・解説

正答：ア

ア：適切。環境負荷と費用は別の評価軸なので、同じライフサイクル条件で両方を比較することが有効である。
イ：LCAとLCCは評価対象が異なる。
ウ：長期費用・環境負荷を見落とす。
エ：ライフサイクル全体を評価する考え方に反する。
総合解説：長寿命建築の代替案比較では、初期値だけでなく、交換回数や運用・廃棄まで含めて同じ期間条件で評価する必要がある。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0141 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：基礎

公共建築工事の工事費構成について、最も適切な関係はどれか。

ア．一般管理費等は消費税等相当額の中に含めて計上する。

イ．工事価格 = 直接工事費だけであり、共通仮設費や現場管理費は含まれない。

ウ．純工事費 = 直接工事費 + 一般管理費等、工事原価 = 純工事費 + 消費税等相当額である。

エ．純工事費 = 直接工事費 + 共通仮設費、工事原価 = 純工事費 + 現場管理費、工事価格 = 工事原価 + 一般管理費等と整理できる。

答え・解説

正答：エ

ア：一般管理費等と消費税等相当額は別に扱う。

イ：工事価格は直接工事費だけでは構成されない。

ウ：費用区分の階層が誤っている。

エ：適切。共通費は共通仮設費、現場管理費、一般管理費等に区分され、段階的に工事価格を構成する。

総合解説：工事費構成は、直接工事費→純工事費→工事原価→工事価格→消費税等を含む工事費、という階層で把握すると整理しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0142 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：基礎

ある工事で、直接工事費が8,000万円、共通仮設費が800万円である。純工事費はいくらか。

ア．共通仮設費を80万円として加えた場合：8,080万円

イ．直接工事費だけを純工事費とした場合：8,000万円

ウ．直接工事費と共通仮設費を合計した場合：8,800万円

エ．直接工事費から共通仮設費を控除した場合：7,200万円

答え・解説

正答：ウ

ア：800万円を80万円と誤って加算している。

イ：共通仮設費を加算していない。

ウ：適切。純工事費 = 直接工事費 + 共通仮設費なので、 $8,000 + 800 = 8,800$ 万円である。

エ：共通仮設費を差し引いている。

総合解説：純工事費の計算では、直接工事費に共通仮設費を加える。費用区分の定義を押さえてから計算する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0143 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：標準

純工事費が8,800万円、現場管理費が1,200万円である。工事原価はいくらか。

ア．現場管理費を加えず純工事費だけを工事原価とした場合：8,800万円

イ．現場管理費を重複して加える側に見積もった場合：1億1,200万円

ウ．純工事費8,800万円と現場管理費1,200万円を合計した場合：1億円

エ．現場管理費の一部だけを加算した場合：9,200万円

答え・解説

正答：ウ

ア：現場管理費を加算していない。

イ：現場管理費を二重に加算したような値である。

ウ：適切。工事原価＝純工事費＋現場管理費なので、 $8,800 + 1,200 = 10,000$ 万円＝1億円である。

エ：現場管理費を400万円だけ加算した値である。

総合解説：現場管理費は工事施工を管理するために必要な共通仮設費以外の経費で、純工事費に加えて工事原価を構成する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0144 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：標準

工事原価が1億円、一般管理費等が1,000万円である。工事価格に対して消費税等相当額を10％と仮定した場合、消費税等相当額を含む工事費はいくらか。

ア．税額を1,000万円として加えた場合：1億2,000万円

イ．消費税等相当額を加える前の工事価格だけとした場合：1億1,000万円

ウ．工事原価と一般管理費等を工事価格とし、その10％を加えた場合：1億2,100万円

エ．工事原価1億円だけに10％を課税した場合：1億1,100万円

答え・解説

正答：ウ

ア：税額を1,000万円と誤って計算している。

イ：これは消費税等相当額を加える前の工事価格である。

ウ：適切。工事価格は1億円＋1,000万円＝1億1,000万円。消費税等相当額は1,100万円なので合計1億2,100万円となる。

エ：消費税を工事原価1億円だけに10％掛けた値になっている。

総合解説：費用構成の計算では、一般管理費等を加えて工事価格を求め、その工事価格に対して設問で指定された消費税等相当額を加える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0145

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：標準

共通仮設費に計上されるものとして、最も適切なものはどれか。

ア．現場代理人など現場管理に従事する者の人件費

イ．企業本店の継続運営に必要な役員報酬や一般管理部門の経費

ウ．建物本体を構成する鉄筋・コンクリート等の材料費

エ．工事全体で共通して使用する仮設事務所や安全施設等に関する費用

答え・解説

正答：エ

ア：現場管理費に含まれる代表的な性格の費用である。

イ：一般管理費等に属する性格の費用である。

ウ：直接工事費に属する。

エ：適切。共通仮設費には運搬、準備、安全、営繕等、工事全体に共通する仮設の経費が含まれる。

総合解説：共通仮設費は現場の仮設施設・安全・運搬等、現場管理費は施工管理のための経費、一般管理費等は企業運営に関する経費という区別が基本である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0146

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：標準

建築積算における「直接仮設」の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．完成後も建物の一部として残る恒久設備だけをいう。

イ．特定の工事種目・工事科目を施工するため、その工事に直接対応して用いる足場や型枠支保工などの仮設をいう。

ウ．企業本店の管理部門が負担する経費をいう。

エ．工事全体に共通する仮設事務所、仮囲い、共通の安全設備等だけをいう。

答え・解説

正答：イ

ア：仮設は原則として工事のため一時的に設けるものである。

イ：適切。直接仮設は特定の工事に直接必要な仮設であり、共通仮設と区別する。

ウ：一般管理費等に関する説明である。

エ：これは共通仮設の説明に近い。

総合解説：積算では仮設費を「特定工事に直接対応する直接仮設」と「工事全体に共通する共通仮設」に分けて整理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0147 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：基礎

公共建築数量積算基準の主な役割として、最も適切なものはどれか。

ア．建築物の確認申請手続を定める。

イ．建築工事の設計図書から、工事費算定に用いる数量を一定のルールで計測・計算する方法を定める。

ウ．設計者の業務報酬だけを算定する。

エ．工事完成後の固定資産税評価額を定める。

答え・解説

正答：イ

ア：確認申請は建築法規の手続である。

イ：適切。数量積算基準は設計図書からの数量の計測・計算方法を標準化する。

ウ：設計業務等積算基準とは別の基準である。

エ：固定資産税評価の基準ではない。

総合解説：工事費積算では、数量・単価・共通費等をそれぞれ対応する基準により扱う。数量積算基準は「どれだけあるか」を測るルールである。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0148 1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：標準

公共建築工事の積算で材料価格を設定する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．10年前の価格を物価変動に関係なくそのまま用いる。

イ．積算時点の最新の現場渡し価格を基本とし、物価資料の掲載価格や製造業者の見積価格等を参考に定める。

ウ．地域や時期による価格差は存在しないものとして全国一律の価格に固定する。

エ．メーカーの定価があれば、運搬条件や市場実勢を一切考慮せず必ずその定価だけを用いる。

答え・解説

正答：イ

ア：社会・経済動向を反映できない。

イ：適切。積算時の実勢を反映した最新の現場渡し価格を用いることが基本である。

ウ：地域・時期等の条件によって価格は変わり得る。

エ：見積や物価資料等を用いて実勢価格を適切に把握する。

総合解説：積算の単価は固定値ではない。最新の市場実勢、現場渡し条件、地域条件等を踏まえて適切に設定する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0149

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：応用

基本計画から実施設計へ進む公共建築で、工事費の予算超過を早期に発見するための方法として最も適切なものはどれか。

ア．工事費は入札結果でしか分からないため、設計段階では概算を行わない。

イ．設計の各段階で得られる情報精度に応じて概算工事費を更新し、目標コストや部位別のコスト配分との差を継続的に確認する。

ウ．最初の概算を一度作成したら、設計内容が変わっても工事発注まで更新しない。

エ．予算を超えた場合は図面を変更せず、単価だけを根拠なく下げて合わせる。

答え・解説

正答：イ

ア：設計段階のコスト管理は重要であり、概算により意思決定できる。

イ：適切。設計進捗に応じて概算を更新し、設計内容と予算の整合を継続的に管理する。

ウ：設計変更・市場変動を反映できない。

エ：単価操作ではなく仕様・数量・要求性能を含めて合理的に検討する必要がある。

総合解説：設計段階のコスト管理は、予算と設計を同時に育てる作業である。早期に差異を把握すれば、機能を保ちながら代替案を検討しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0150

1-5 建築生産・マネジメント・積算 > 建築積算・工事費 | 難易度：応用

公共建築の工事費を積算する際、「数量の求め方」「単価・価格の求め方」「共通仮設費・現場管理費・一般管理費等の求め方」をそれぞれ適切な基準で扱いたい。組合せとして最も適切なものはどれか。

ア．数量は公共建築工事共通費積算基準だけで求め、単価と共通費は設計者の任意で決める。

イ．数量は建築設計業務委託契約約款、単価は立地適正化計画、共通費は都市公園法で算定する。

ウ．数量は公共建築数量積算基準、単価・価格は公共建築工事標準単価積算基準、共通費は公共建築工事共通費積算基準を用いる。

エ．数量・単価・共通費の全てを景観計画だけで算定する。

答え・解説

正答：ウ

ア：数量・単価・共通費はそれぞれ所定の基準・資料に基づき扱う。

イ：いずれも積算の対象・目的が異なる制度である。

ウ：適切。公共建築工事の積算基準体系では、数量、単価・価格、共通費にそれぞれ対応する基準がある。

エ：景観計画は工事費積算基準ではない。

総合解説：積算は一つの基準だけで完結せず、数量、単価、共通費、内訳書式等の基準を組み合わせで行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01